

(2) 目黒区での居住について

- 目黒区に20年以上居住する人の割合が47.9%と、『長期居住者』の割合が約半数を占めている。今後の居住意向は約半数が「ずっと住んでいたい」と回答し、「当分の間は住んでいたい」と合わせた『定住意向』を有する人は全体の94%を占めている。
- 目黒区に居住する理由としては、「通勤・通学に便利、交通の便がよいから（59.1%）」、目黒区に居住したくない理由では、「家賃相場が高いから（48.1%）」の割合が高い。

①目黒区での居住年数

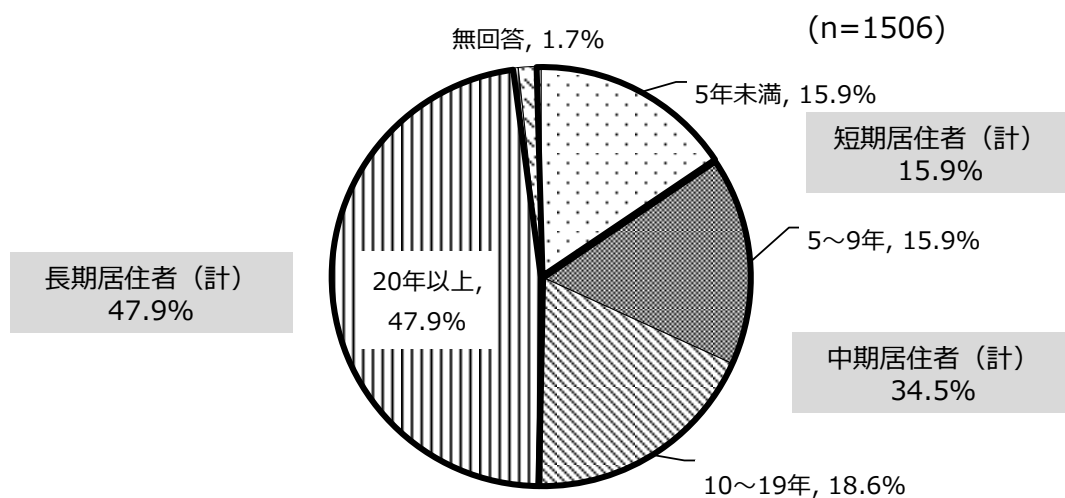
問1 あなたは、目黒区に住んで何年になりますか。（あてはまるもの1つに○）

1) 全体

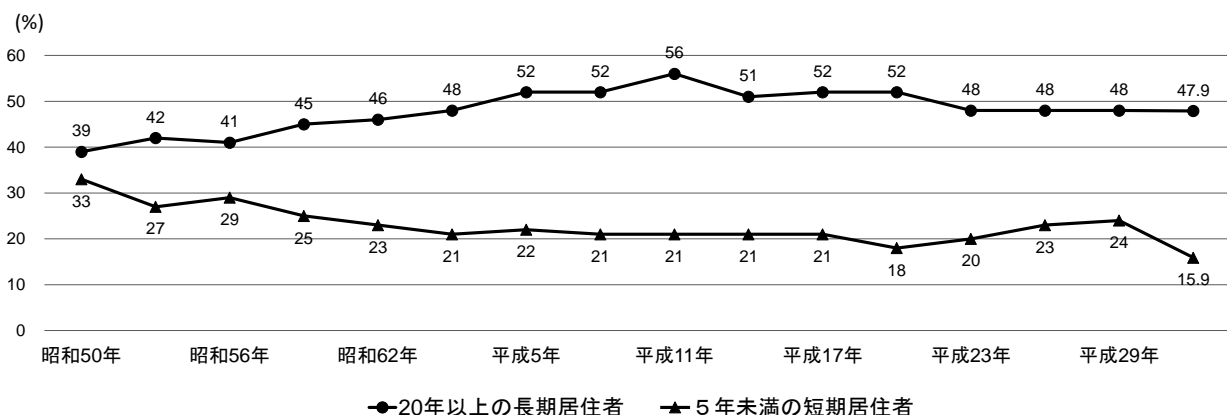
回答者の目黒区での居住年数は、「20年以上」の割合が最も高く47.9%となっている。次いで、「10～19年（18.6%）」、「5～9年（15.9%）」となっている。

また、「5年未満」を『短期居住者』、「5～9年」と「10～19年」を合わせて『中期居住者』、「20年以上」を『長期居住者』と見ると、それぞれ15.9%、34.5%、47.9%となり、『長期居住者』の割合が高い。

図表 22 目黒区居住年数



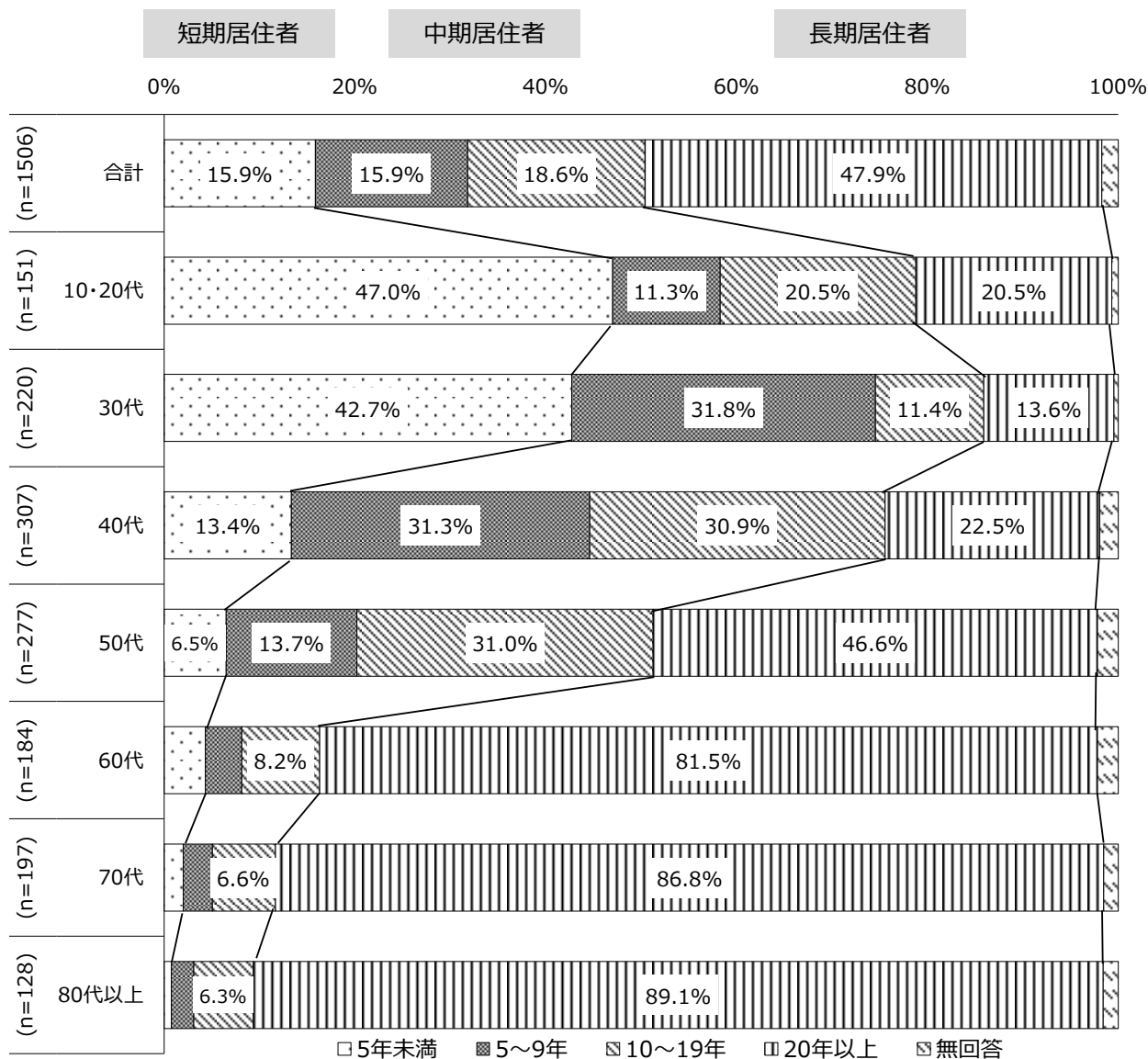
図表 23 目黒区居住年数（経年変化）



2) 年齢別

年齢が若いほど居住年数「5年未満」の『短期居住者』の割合が高くなっている。また、居住年数「20年以上」の『長期居住者』の割合は概ね年齢が高いほど割合が高いが、30代が10・20代よりも低くなっている。

図表 24 目黒区居住年数（年齢別）



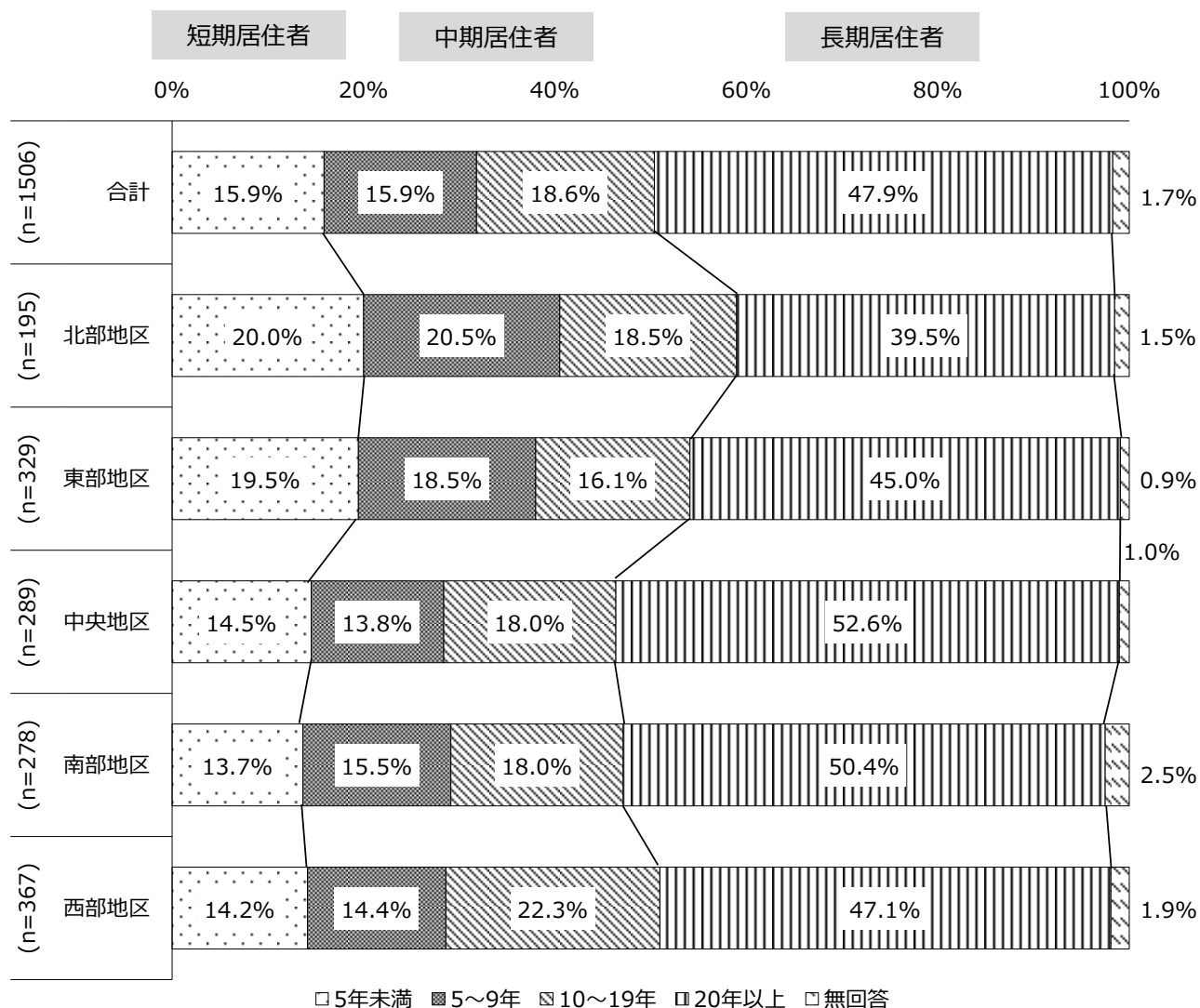
注釈) グラフの5.0%以下のデータラベルは非表示

		5年未満	5~9年	10~19年	20年以上	無回答
(n=1506)	合計	15.9%	15.9%	18.6%	47.9%	1.7%
(n=151)	10・20代	47.0%	11.3%	20.5%	20.5%	0.7%
(n=220)	30代	42.7%	31.8%	11.4%	13.6%	0.5%
(n=307)	40代	13.4%	31.3%	30.9%	22.5%	2.0%
(n=277)	50代	6.5%	13.7%	31.0%	46.6%	2.2%
(n=184)	60代	4.3%	3.8%	8.2%	81.5%	2.2%
(n=197)	70代	2.0%	3.0%	6.6%	86.8%	1.5%
(n=128)	80代以上	0.8%	2.3%	6.3%	89.1%	1.6%

3) 地区別

北部地区、東部地区で居住年数10年未満の割合が高くなっている。また、「20年以上」の『長期居住者』の割合は北部地区、東部地区で低いが、特に北部地区で低くなっている。

図表 25 目黒区居住年数（地区別）

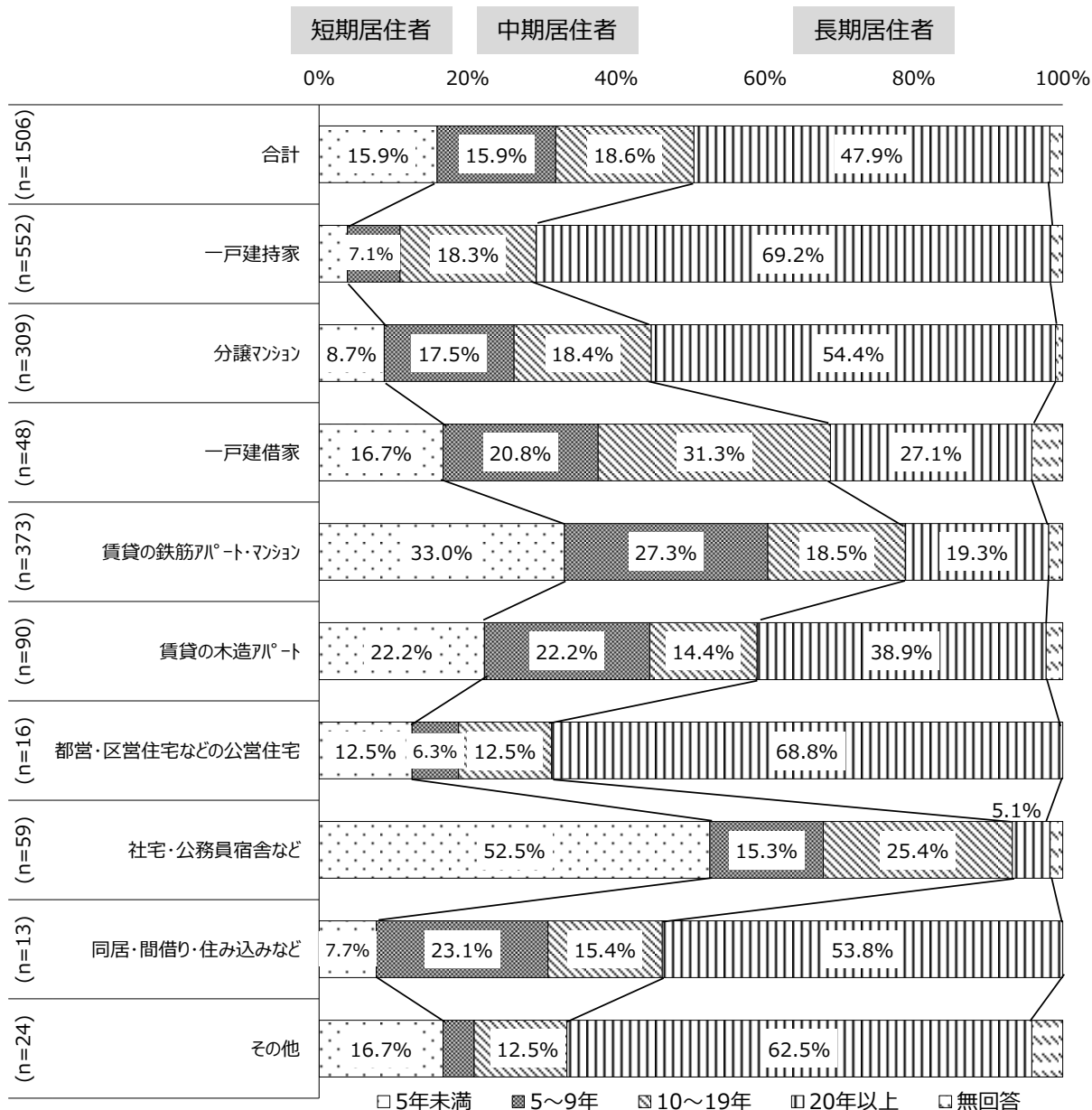


		5年未満	5～9年	10～19年	20年以上	無回答
(n=1506)	合計	15.9%	15.9%	18.6%	47.9%	1.7%
(n=195)	北部地区	20.0%	20.5%	18.5%	39.5%	1.5%
(n=329)	東部地区	19.5%	18.5%	16.1%	45.0%	0.9%
(n=289)	中央地区	14.5%	13.8%	18.0%	52.6%	1.0%
(n=278)	南部地区	13.7%	15.5%	18.0%	50.4%	2.5%
(n=367)	西部地区	14.2%	14.4%	22.3%	47.1%	1.9%

4) 住居形態別

「社宅・公務員宿舎など」や「賃貸の鉄筋アパート・マンション」で、居住年数「5年未満」の『短期居住者』の割合が高く、持家である「一戸建持家」、「分譲マンション」で低くなっている。また、持家である「一戸建持家」、「分譲マンション」では、「20年以上」の『長期居住者』の割合が高くなっている。

図表 26 目黒区居住年数（住居形態別）



注釈) グラフの 5.0%以下のデータラベルは非表示

	5年未満	5~9年	10~19年	20年以上	無回答
(n=1506) 合計	15.9%	15.9%	18.6%	47.9%	1.7%
(n=552) 一戸建持家	3.8%	7.1%	18.3%	69.2%	1.6%
(n=309) 分譲マンション	8.7%	17.5%	18.4%	54.4%	1.0%
(n=48) 一戸建借家	16.7%	20.8%	31.3%	27.1%	4.2%
(n=373) 賃貸の鉄筋アパート・マンション	33.0%	27.3%	18.5%	19.3%	1.9%
(n=90) 賃貸の木造アパート	22.2%	22.2%	14.4%	38.9%	2.2%
(n=16) 都営・区営住宅などの公営住宅	12.5%	6.3%	12.5%	68.8%	0.0%
(n=59) 社宅・公務員宿舎など	52.5%	15.3%	25.4%	5.1%	1.7%
(n=13) 同居・間借り・住み込みなど	7.7%	23.1%	15.4%	53.8%	0.0%
(n=24) その他	16.7%	4.2%	12.5%	62.5%	4.2%

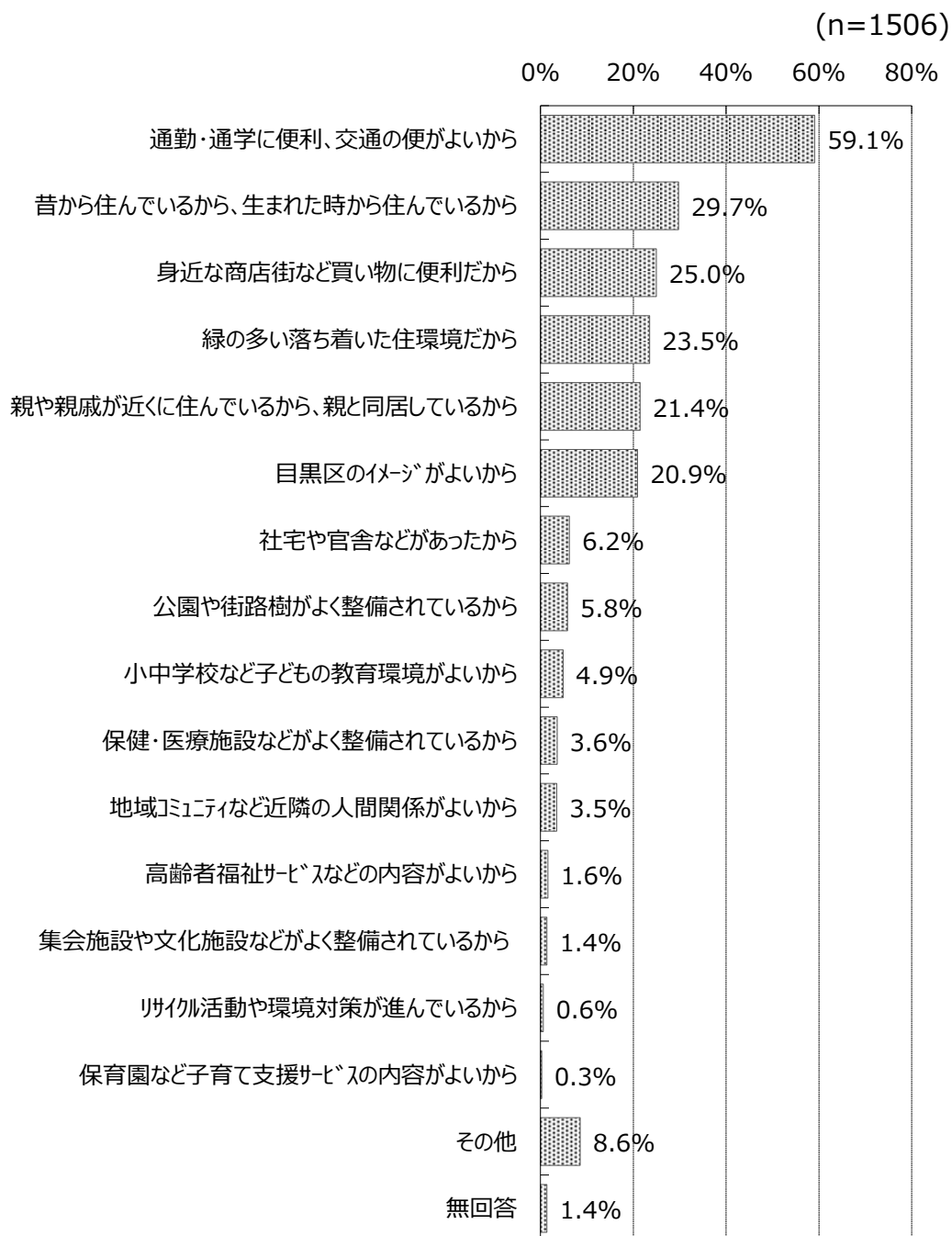
②目黒区に居住する理由

問2 あなたが、目黒区に住んでいる理由は何ですか。（あてはまるもの3つまでに○）

1)全体

目黒区に居住する理由を尋ねたところ、「通勤・通学に便利、交通の便がよいから」の割合が最も高く59.1%となっている。次いで、「昔から住んでいるから、生まれた時から住んでいるから（29.7%）」、「身近な商店街など買い物に便利だから（25.0%）」となっている。

図表 27 目黒区に居住する理由



注釈) 単純集計のグラフのみ、回答割合の高かった選択肢順に並び替えている。

2) 年齢別

30～40代で「通勤・通学に便利、交通の便がよいから」の割合が高くなっている。

図表 28 目黒区に居住する理由（年齢別）

		通勤・通学に便利、交通の便がよいから	昔から住んでいるから、生まれた時から住んでいるから	親や親戚が近くに住んでいるから、親と同居しているから	社宅や官舎などがあったから	身近な商店街など買い物に便利だから	緑の多い落ち着いた住環境だから
(n=1506)	合計	59.1%	29.7%	21.4%	6.2%	25.0%	23.5%
(n=151)	10・20代	62.3%	31.1%	35.8%	12.6%	17.2%	11.3%
(n=220)	30代	73.2%	14.1%	19.1%	12.3%	25.5%	19.5%
(n=307)	40代	70.0%	21.5%	20.8%	5.5%	21.2%	24.1%
(n=277)	50代	66.1%	22.7%	25.3%	5.4%	29.2%	26.0%
(n=184)	60代	51.6%	39.7%	21.7%	4.3%	20.1%	27.2%
(n=197)	70代	42.1%	47.7%	15.7%	1.5%	25.4%	22.8%
(n=128)	80代以上	35.2%	44.5%	13.3%	2.3%	35.2%	34.4%

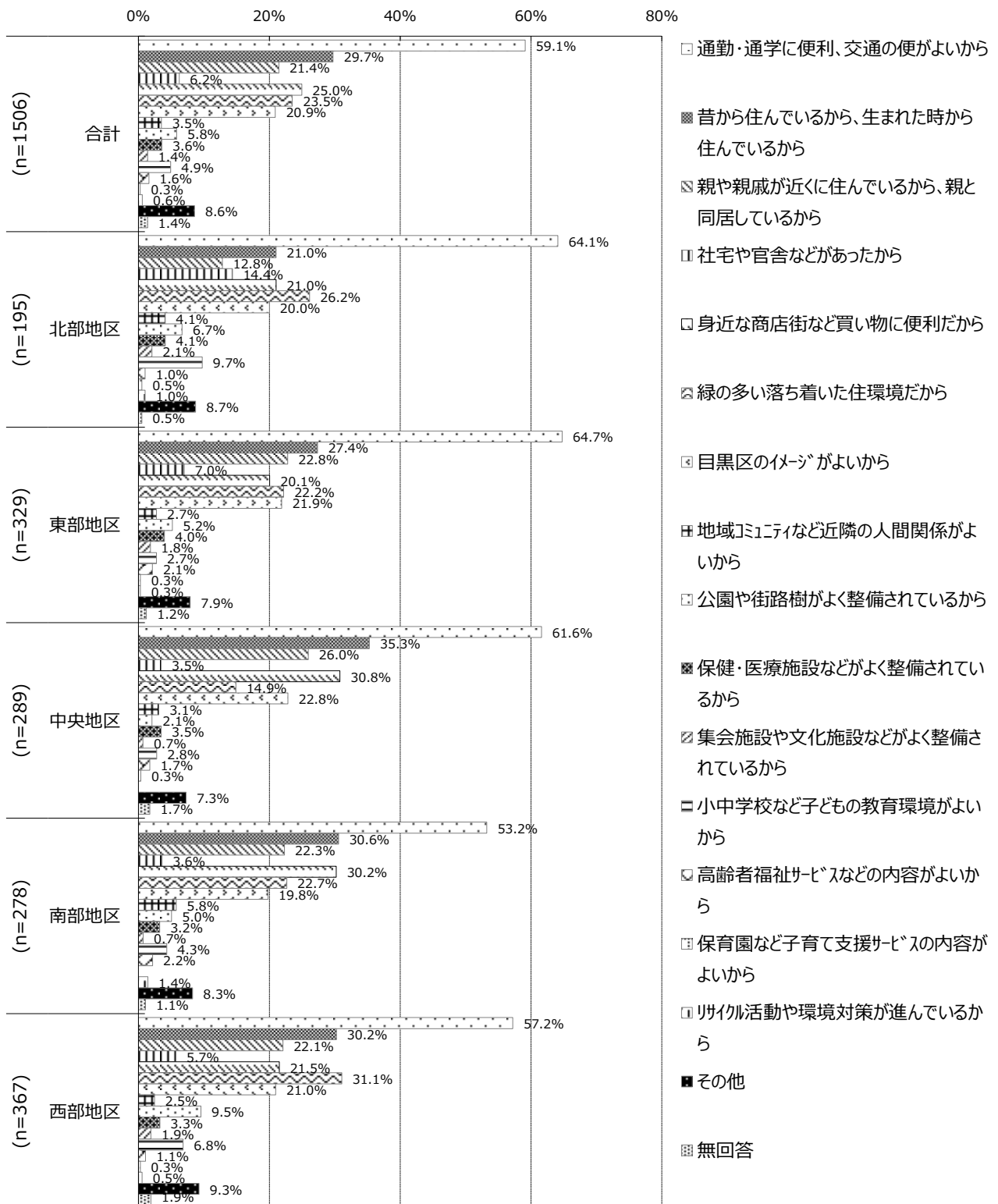
		目黒区のイメージがよいから	地域コミュニティなど近隣の人間関係がよいから	公園や街路樹がよく整備されているから	保健・医療施設などがよく整備されているから	集会施設や文化施設などがよく整備されているから	小中学校など子どもの教育環境がよいから
(n=1506)	合計	20.9%	3.5%	5.8%	3.6%	1.4%	4.9%
(n=151)	10・20代	21.9%	0.0%	4.0%	0.7%	0.7%	0.0%
(n=220)	30代	23.6%	2.7%	5.9%	0.5%	1.4%	3.2%
(n=307)	40代	24.8%	3.9%	4.9%	1.6%	1.6%	9.1%
(n=277)	50代	20.6%	3.6%	6.1%	1.8%	1.4%	5.1%
(n=184)	60代	17.4%	4.9%	4.9%	2.7%	0.5%	4.3%
(n=197)	70代	17.3%	3.0%	5.6%	9.1%	1.5%	4.6%
(n=128)	80代以上	19.5%	6.3%	10.9%	13.3%	3.1%	5.5%

		高齢者福祉サービスなどの内容がよいから	保育園など子育て支援サービスの内容がよいから	リサイクル活動や環境対策が進んでいるから	その他	無回答
(n=1506)	合計	1.6%	0.3%	0.6%	8.6%	1.4%
(n=151)	10・20代	0.0%	0.0%	0.0%	2.6%	1.3%
(n=220)	30代	0.0%	1.4%	0.0%	8.2%	0.5%
(n=307)	40代	0.0%	0.0%	0.0%	7.2%	1.6%
(n=277)	50代	0.7%	0.0%	0.4%	8.7%	1.8%
(n=184)	60代	1.6%	0.0%	0.5%	12.5%	1.6%
(n=197)	70代	3.0%	0.0%	1.0%	10.7%	2.0%
(n=128)	80代以上	10.2%	0.8%	3.9%	9.4%	0.0%

3) 地区別

北部地区、東部地区で「通勤・通学に便利、交通の便がよいから」の割合がやや高くなっている。

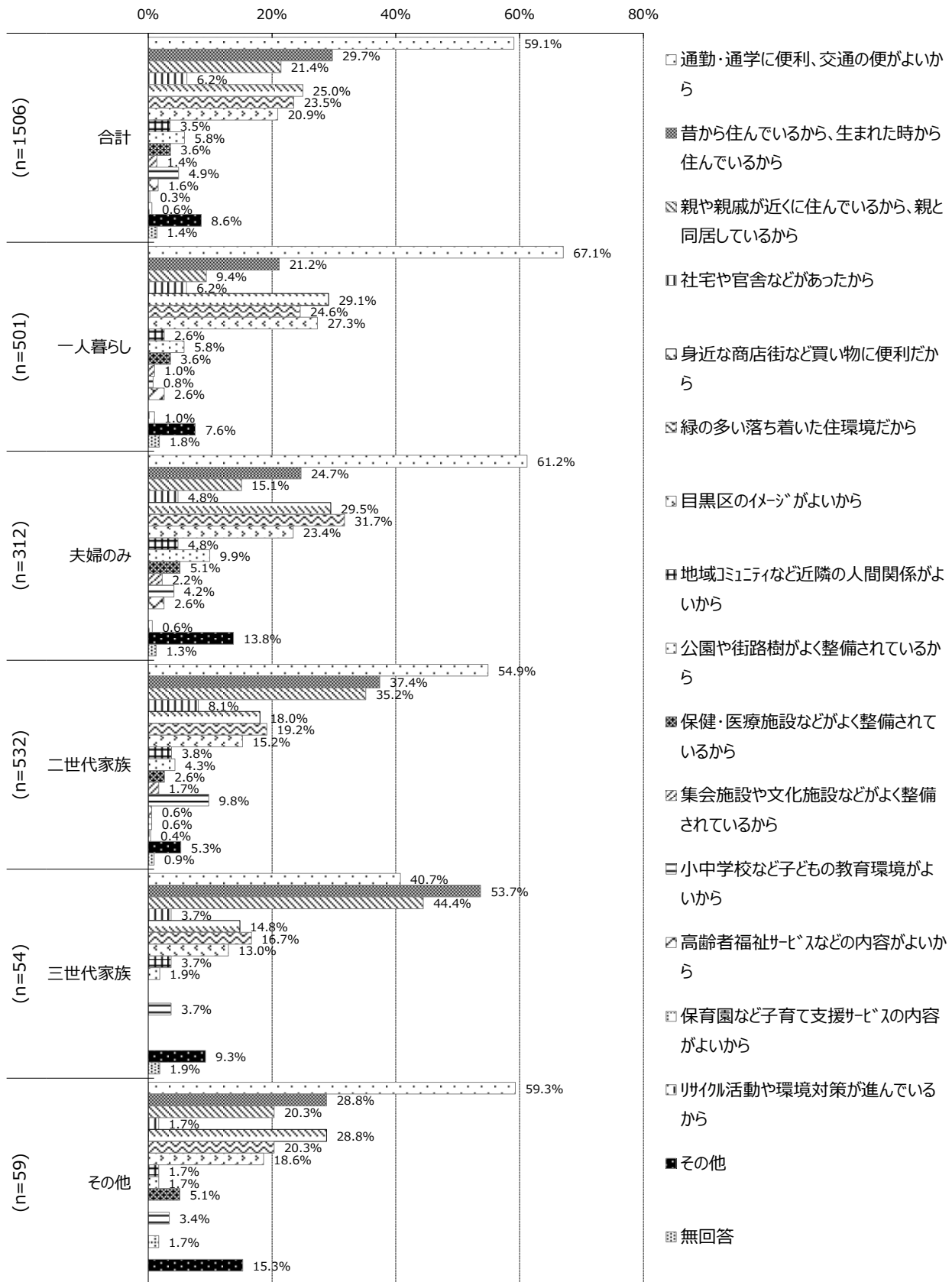
図表 29 目黒区に居住する理由（地区別）



4) 世帯構成別

「一人暮らし」では「通勤・通学に便利、交通の便がよいから」の割合が高い。「三世代家族（親と子どもと孫）」では「昔から住んでいるから、生まれた時から住んでいるから」の割合が高く、「通勤・通学に便利、交通の便がよいから」の割合が低くなっている。

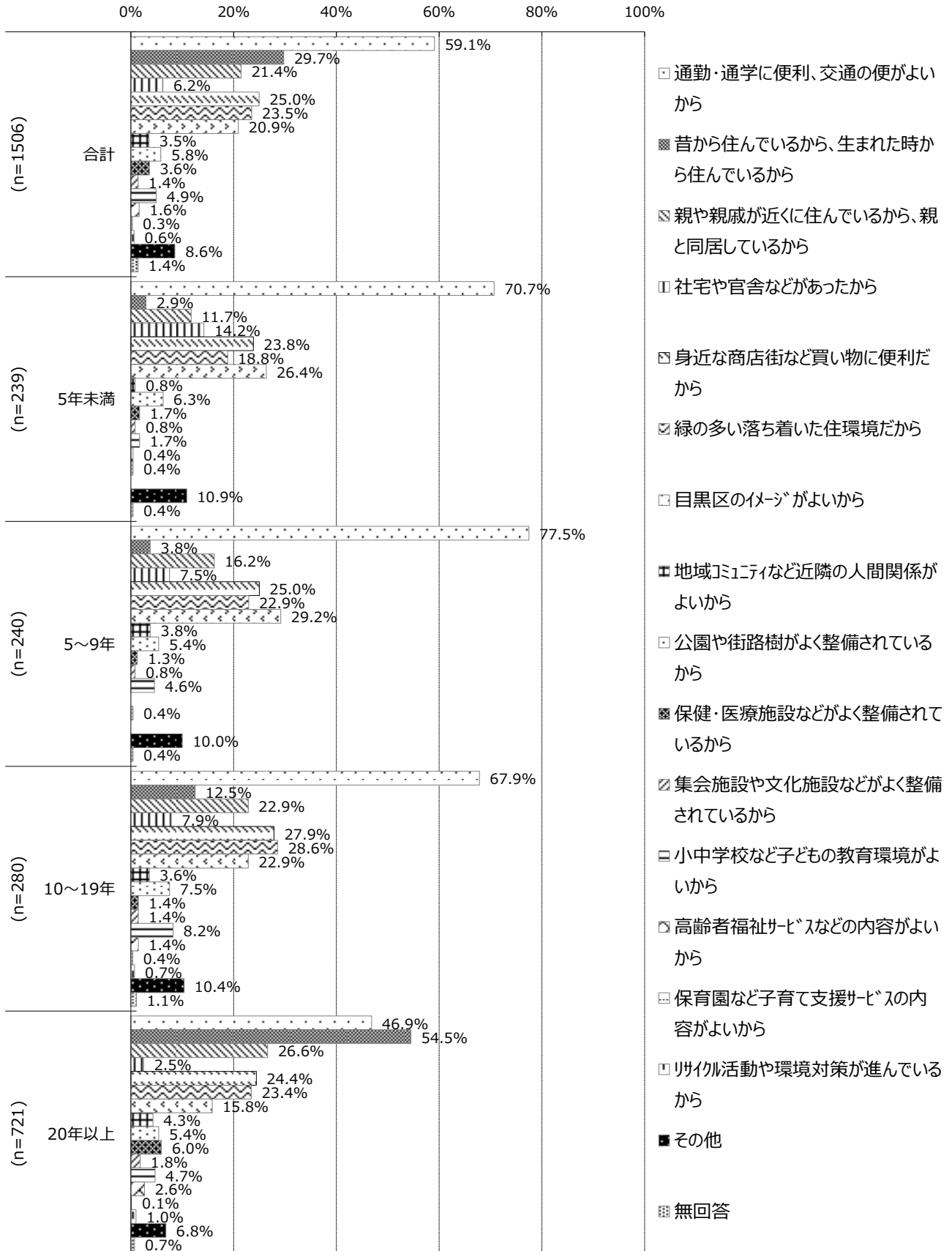
図表 30 目黒区に居住する理由（世帯構成別）



5) 居住年数別

居住年数が10年未満の人は「通勤・通学に便利、交通の便がよいから」の割合が高い。居住年数が「20年以上」の人は「昔から住んでいるから、生まれた時から住んでいるから」の割合が高くなっている。

図表 31 目黒区に居住する理由（居住年数別）



③今後の目黒区での居留意向

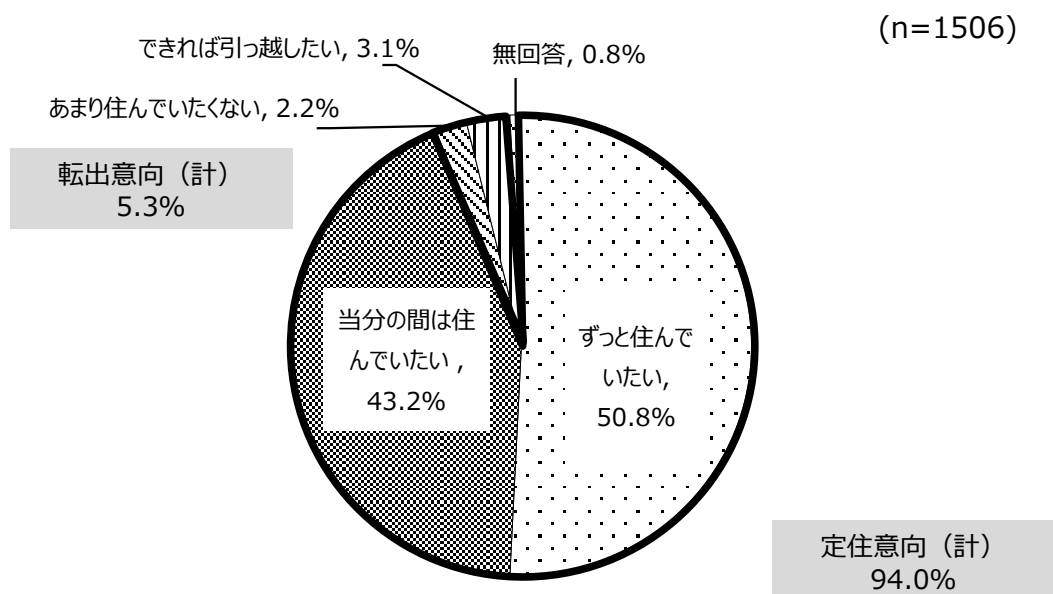
問3 あなたは、目黒区に今後も住みたいと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

1)全体

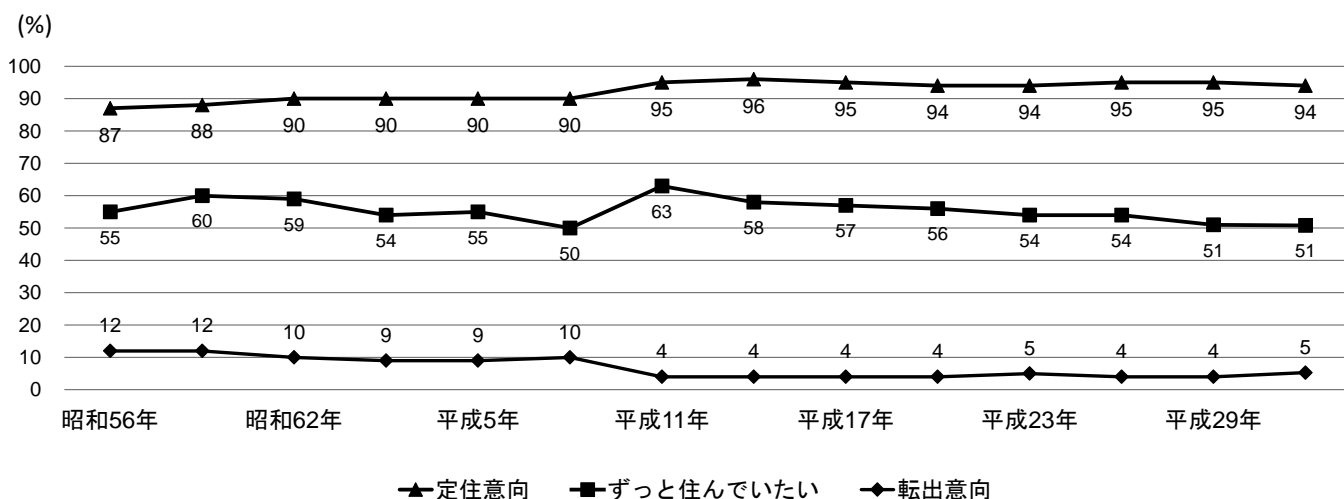
今後の目黒区での居留意向を尋ねたところ、「ずっと住んでいたい」の割合が最も高く50.8%となっている。次いで、「当分の間は住んでいたい(43.2%)」、「できれば引っ越したい(3.1%)」となっている。「ずっと住んでいたい」と「当分の間は住んでいたい」を合わせた『定住意向』は94.0%を占め非常に割合が高く、「あまり住んでいたくない」、「できれば引っ越したい」を合わせた『転出意向』は5.3%にとどまっている

「ずっと住んでいたい」と「当分の間は住んでいたい」を合わせた『定住意向』の推移を見ると、平成11年以降は95%前後で高い割合を保っている。一方、「あまり住んでいたくない」と「できれば引っ越したい」を合わせた『転出意向』の推移では、平成11年以降、5%以下の低い割合で推移している。

図表 32 今後の居留意向



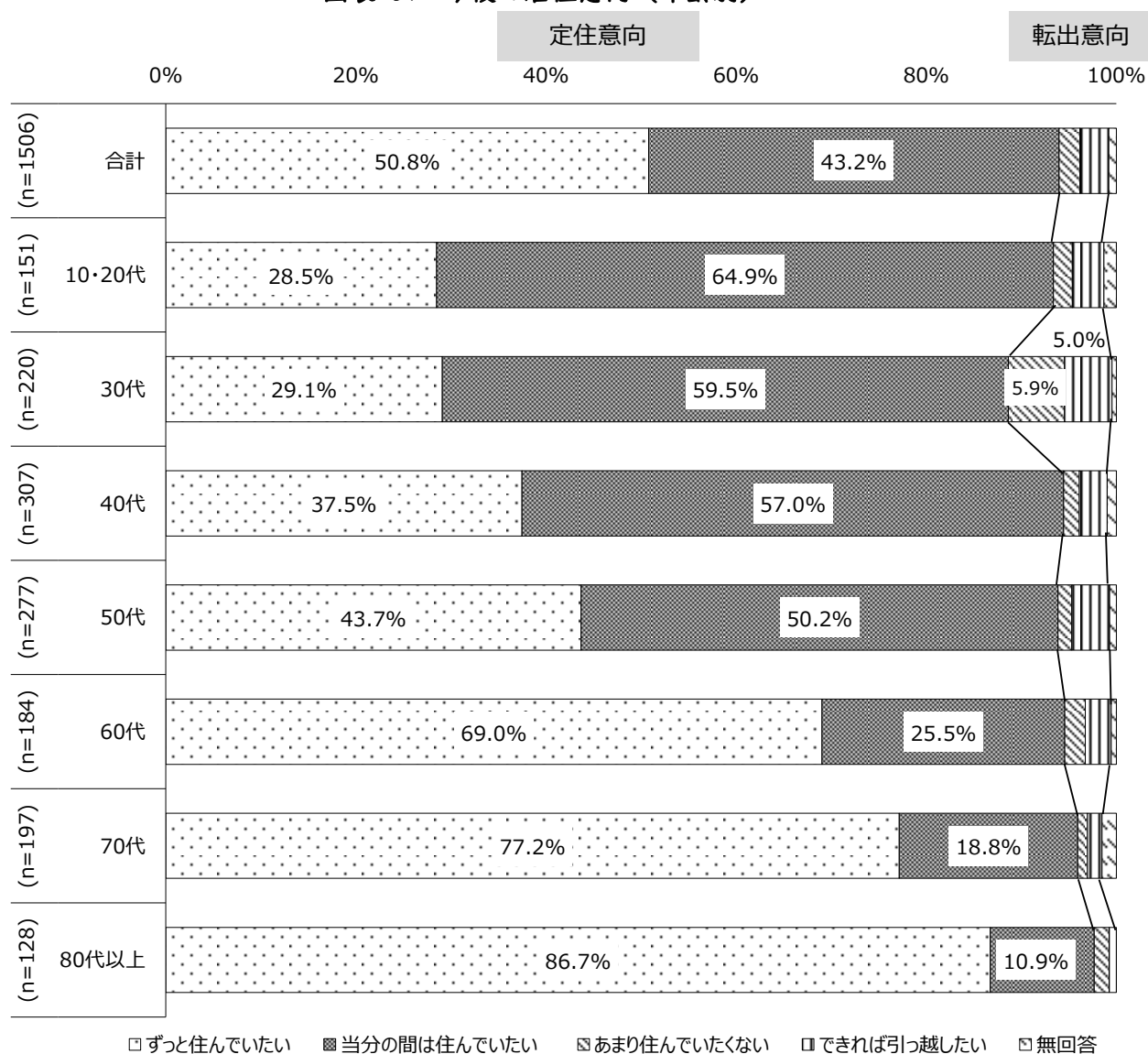
図表 33 今後の居留意向 (経年変化)



2) 年齢別

年齢が高いほど「ずっと住んでいたい」の割合が高くなっている。「ずっと住んでいたい」と「当分の間は住んでいたい」を合わせた『定住意向』の割合は、30代で最も低くなっている。

図表 34 今後の居住意向（年齢別）



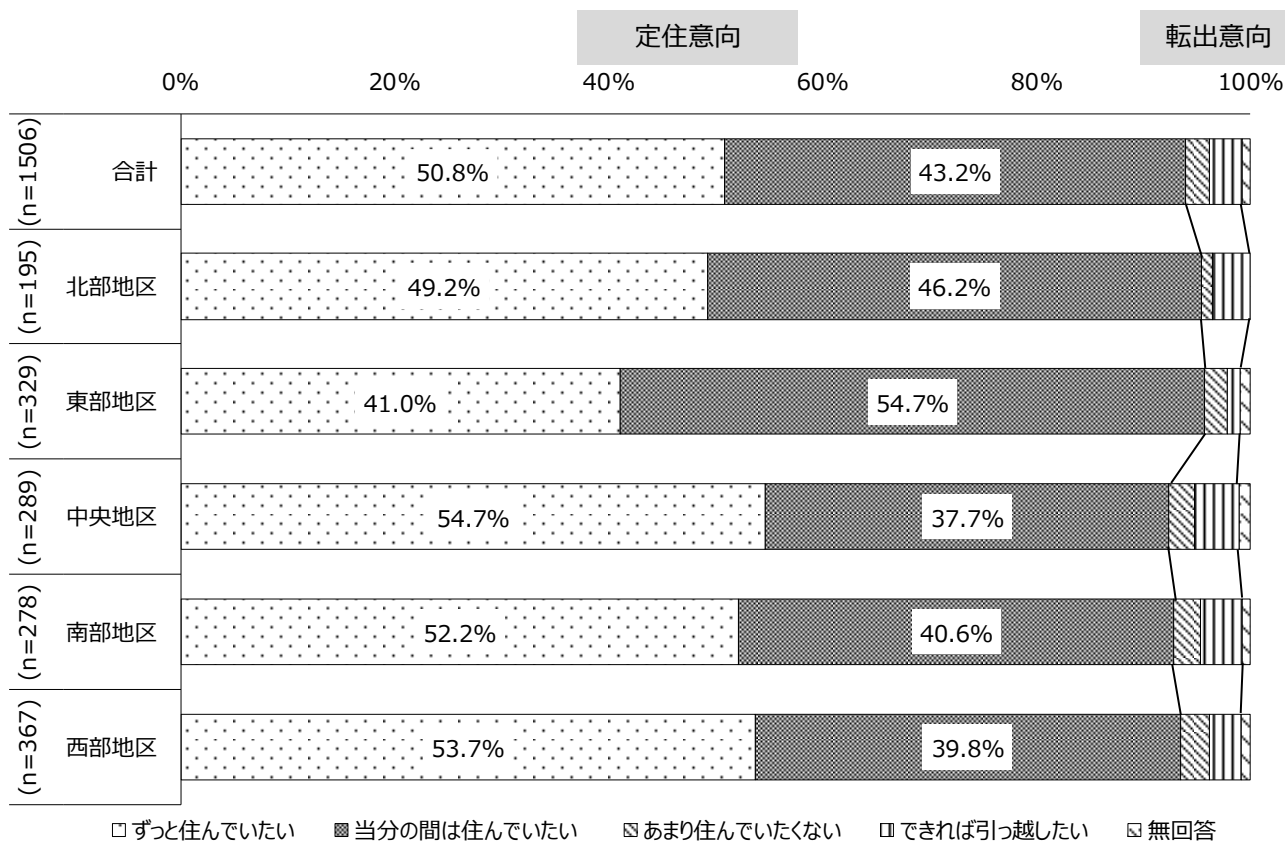
注釈) グラフの 5.0%以下のデータラベルは非表示

	ずっと住んで いたい	当分の間は住 んでいたい	あまり住んで いたくない	できれば引っ 越したい	無回答
(n=1506) 合計	50.8%	43.2%	2.2%	3.1%	0.8%
(n=151) 10・20代	28.5%	64.9%	2.0%	3.3%	1.3%
(n=220) 30代	29.1%	59.5%	5.9%	5.0%	0.5%
(n=307) 40代	37.5%	57.0%	1.6%	2.9%	1.0%
(n=277) 50代	43.7%	50.2%	1.4%	4.0%	0.7%
(n=184) 60代	69.0%	25.5%	2.2%	2.7%	0.5%
(n=197) 70代	77.2%	18.8%	1.0%	1.5%	1.5%
(n=128) 80代以上	86.7%	10.9%	1.6%	0.8%	0.0%

3) 地区別

東部地区で「ずっと住んでいたい」の割合が低くなっている。しかし、「ずっと住んでいたい」と「当分の間は住んでいたい」を合わせた『定住意向』の割合は、東部地区では相対的にやや高くなっている。

図表 35 今後の居住意向（地区別）



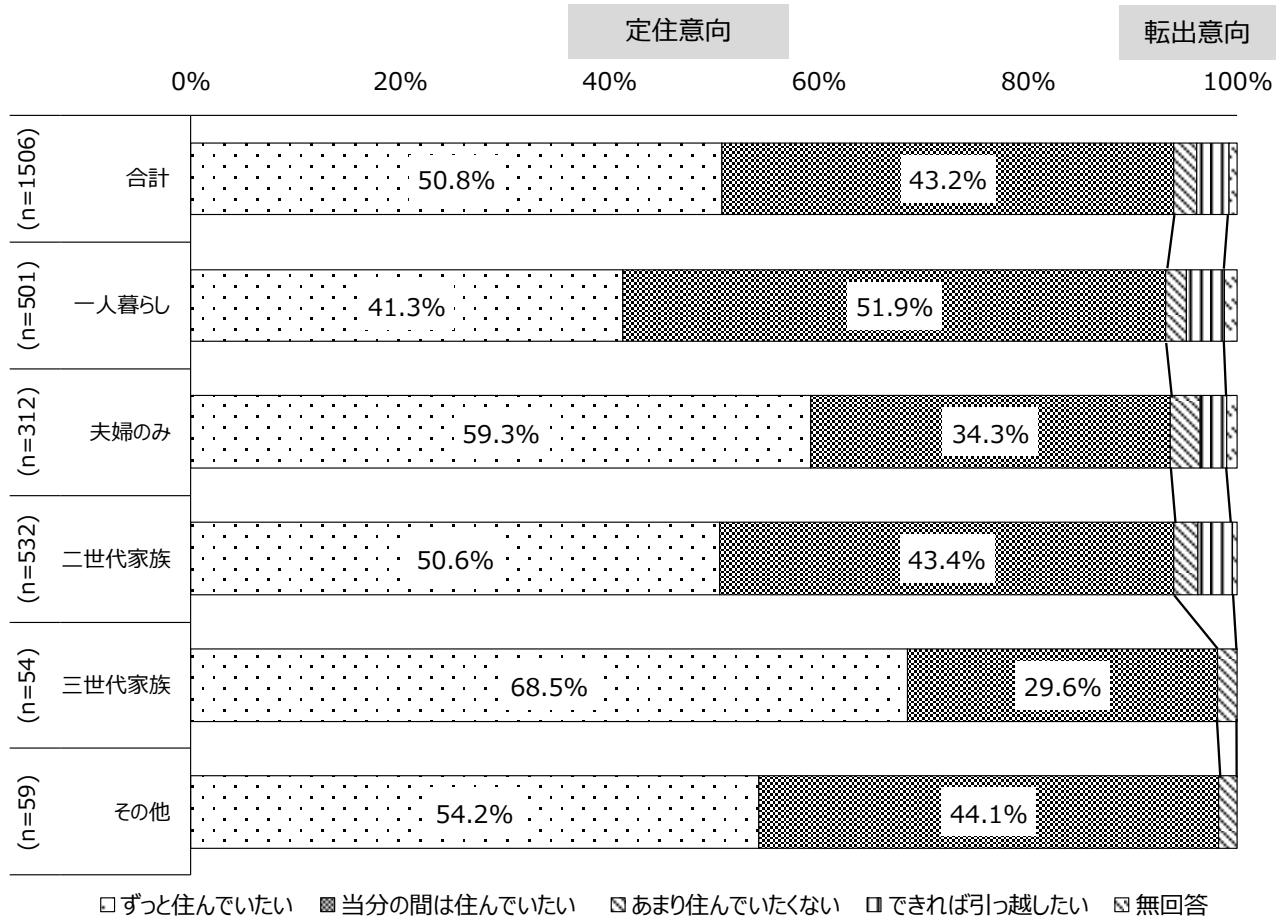
注釈) グラフの 5.0%以下のデータラベルは非表示

	ずっと住んでいたい	当分の間は住んでいたい	あまり住んでいたくない	できれば引っ越したい	無回答
(n=1506) 合計	50.8%	43.2%	2.2%	3.1%	0.8%
(n=195) 北部地区	49.2%	46.2%	1.0%	3.6%	0.0%
(n=329) 東部地区	41.0%	54.7%	2.1%	1.2%	0.9%
(n=289) 中央地区	54.7%	37.7%	2.4%	4.2%	1.0%
(n=278) 南部地区	52.2%	40.6%	2.5%	4.0%	0.7%
(n=367) 西部地区	53.7%	39.8%	2.7%	3.0%	0.8%

4) 世帯構成別

「三世代家族（親と子どもと孫）」で「ずっと住んでいたい」の割合が相対的に高く、「一人暮らし」で低くなっている。「ずっと住んでいたい」と「当分の間は住んでいたい」を合わせた『定住意向』の割合は「三世代家族（親と子どもと孫）」で高くなっている。

図表 36 今後の居留意向（世帯構成別）



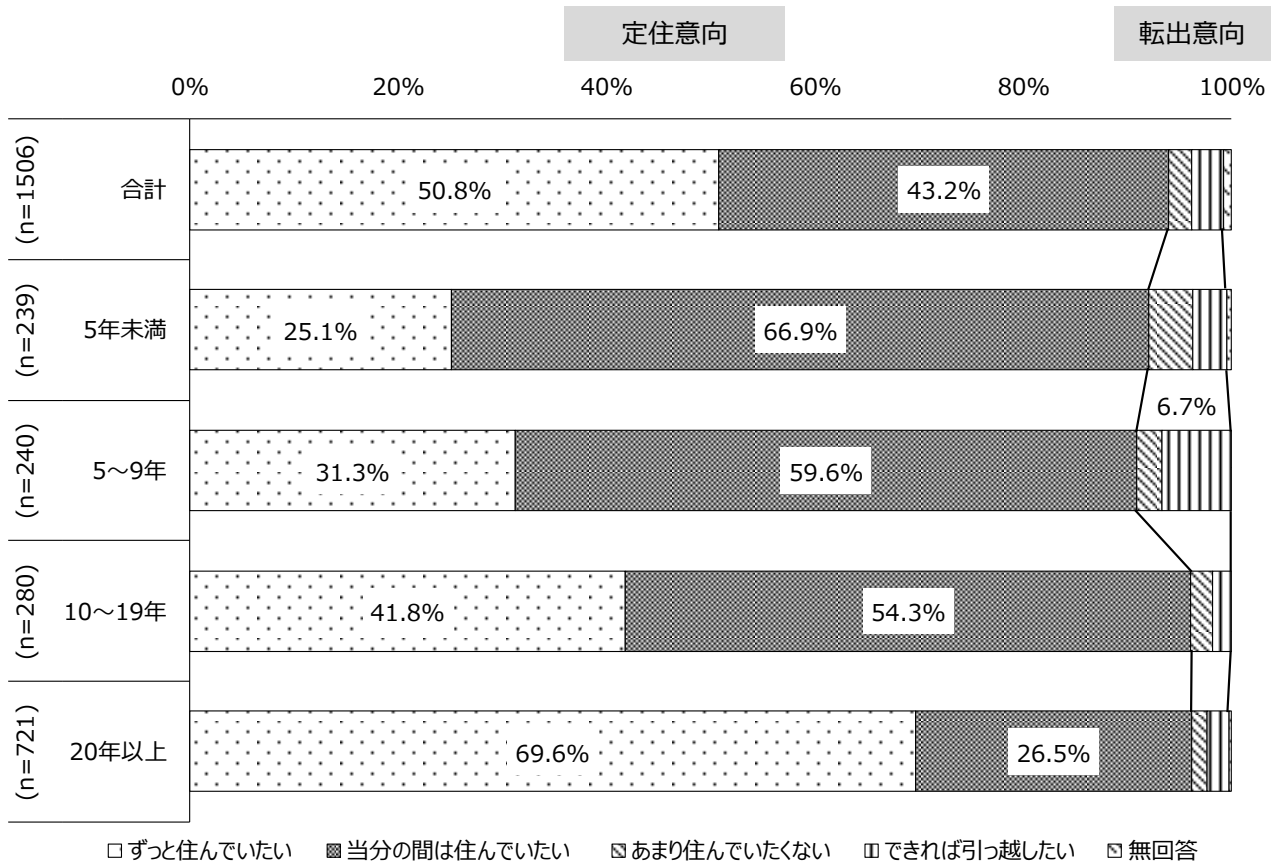
注釈) グラフの 5.0%以下のデータラベルは非表示

	ずっと住んで いたい	当分の間は住 んでいたい	あまり住んで いたくない	できれば引っ 越したい	無回答
(n=1506) 合計	50.8%	43.2%	2.2%	3.1%	0.8%
(n=501) 一人暮らし	41.3%	51.9%	2.0%	3.6%	1.2%
(n=312) 夫婦のみ	59.3%	34.3%	2.9%	2.6%	1.0%
(n=532) 二世世代家族	50.6%	43.4%	2.3%	3.4%	0.4%
(n=54) 三世代家族	68.5%	29.6%	1.9%	0.0%	0.0%
(n=59) その他	54.2%	44.1%	1.7%	0.0%	0.0%

5) 居住年数別

居住年数が長いほど「ずっと住んでいたい」の割合が高くなっている。「ずっと住んでいたい」と「当分の間は住んでいたい」を合わせた『定住意向』の割合は、「5～9年」でやや低くなっている。

図表 37 今後の居住意向（居住年数別）



注釈) グラフの 5.0%以下のデータラベルは非表示

		ずっと住んで いたい	当分の間は住 んでいたい	あまり住んで いたくない	できれば引っ 越したい	無回答
(n=1506)	合計	50.8%	43.2%	2.2%	3.1%	0.8%
(n=239)	5年未満	25.1%	66.9%	4.2%	3.3%	0.4%
(n=240)	5～9年	31.3%	59.6%	2.5%	6.7%	0.0%
(n=280)	10～19年	41.8%	54.3%	2.1%	1.8%	0.0%
(n=721)	20年以上	69.6%	26.5%	1.5%	2.1%	0.3%

④目黒区に居住したくない理由

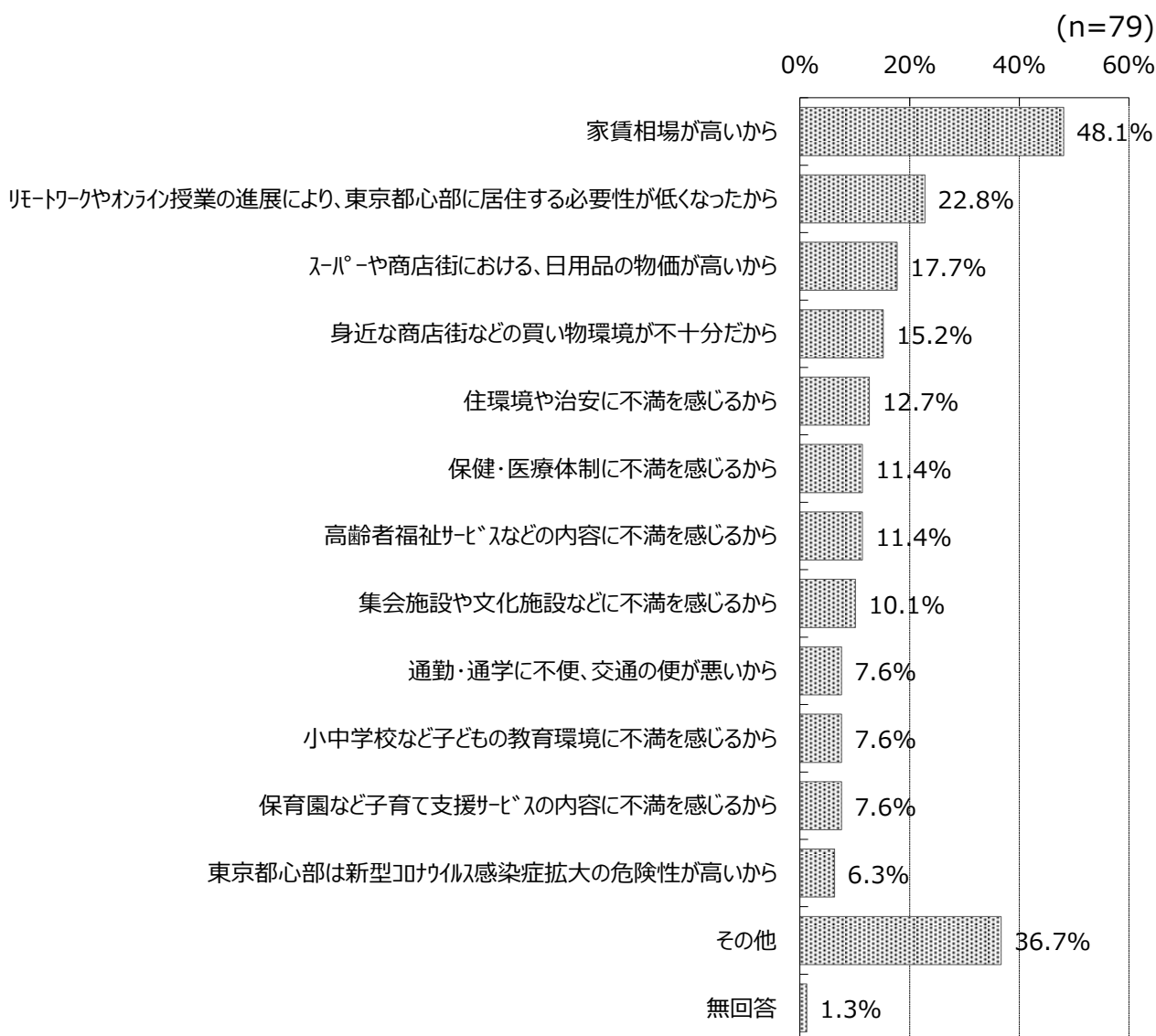
問3-1 あまり住んでいきたいくない・できれば引っ越したいと思うのは、主にどのような理由からですか。(あてはまるものすべてに○)

1)全体

目黒区の居留意向で「あまり住んでいきたいくない」「できれば引っ越したい」と回答した人79人にその理由を尋ねたところ、「家賃相場が高いから」の割合が最も高く48.1%となっている。次いで、「その他(36.7%)」、「リモートワークやオンライン授業の進展により、東京都心部に居住する必要性が低くなったから(22.8%)」となっている。

「その他(36.7%)」に寄せられた内容は、「その他の内容」(図表39)のとおりである。

図表 38 目黒区に居住したくない理由



注釈) 単純集計のグラフのみ、回答割合の高かった選択肢順に並び替えている。

図表 39 その他の内容（一部抜粋、編集）

記述式の回答に 30 名から 34 の意見が得られた。

<住環境への不満（騒音への不満を含む）> 【8名】

- ・ 細い道が多く、子供を連れて歩くのに不安を感じる人が多い
- ・ 飲食店と薬局ばかりで、生活用品店がない。近くの商店街がすっかり変ってしまった
- ・ 集合住宅で、周りの生活音がうるさいのと、ゴミの出し方のマナーが悪い
- ・ 羽田新ルートで、飛行機の騒音がひどく、落下物も心配である
- ・ 山手通りだが、街路樹が切られるなど、自然環境が悪化した

<行政への不満（子育て支援対策・助成金を含む）> 【6名】

- ・ 不妊治療への助成金がない
- ・ 他の区に比べると区民に関して優しくない
- ・ 不妊治療により退職してしまった専業主婦の妻が、低予算で子供を預けられる保育園がない

<コロナ対策への不満> 【2名】

- ・ 今回コロナ禍における区の対応に不満がある。品川区などは早急に活力応援給付金を配っているのにも関わらず、目黒区は何もなく、補助さえない
- ・ 住民税など他の区より高いのに、コロナの危機的な状況でも区民への区独自の給付がなく行政に対して失望した
- ・ 特別定額給付金支給の手続きも非常に遅く他の区の対応と比較してしまった

<納税への不満> 【2名】

- ・ 税金が高い
- ・ 住民税が高すぎる

<賃貸物件への不満> 【4名】

- ・ 高齢者の独居が増える中、それに対応したバリアフリー等の賃貸物件が無い
- ・ 住みたいが家賃が高い

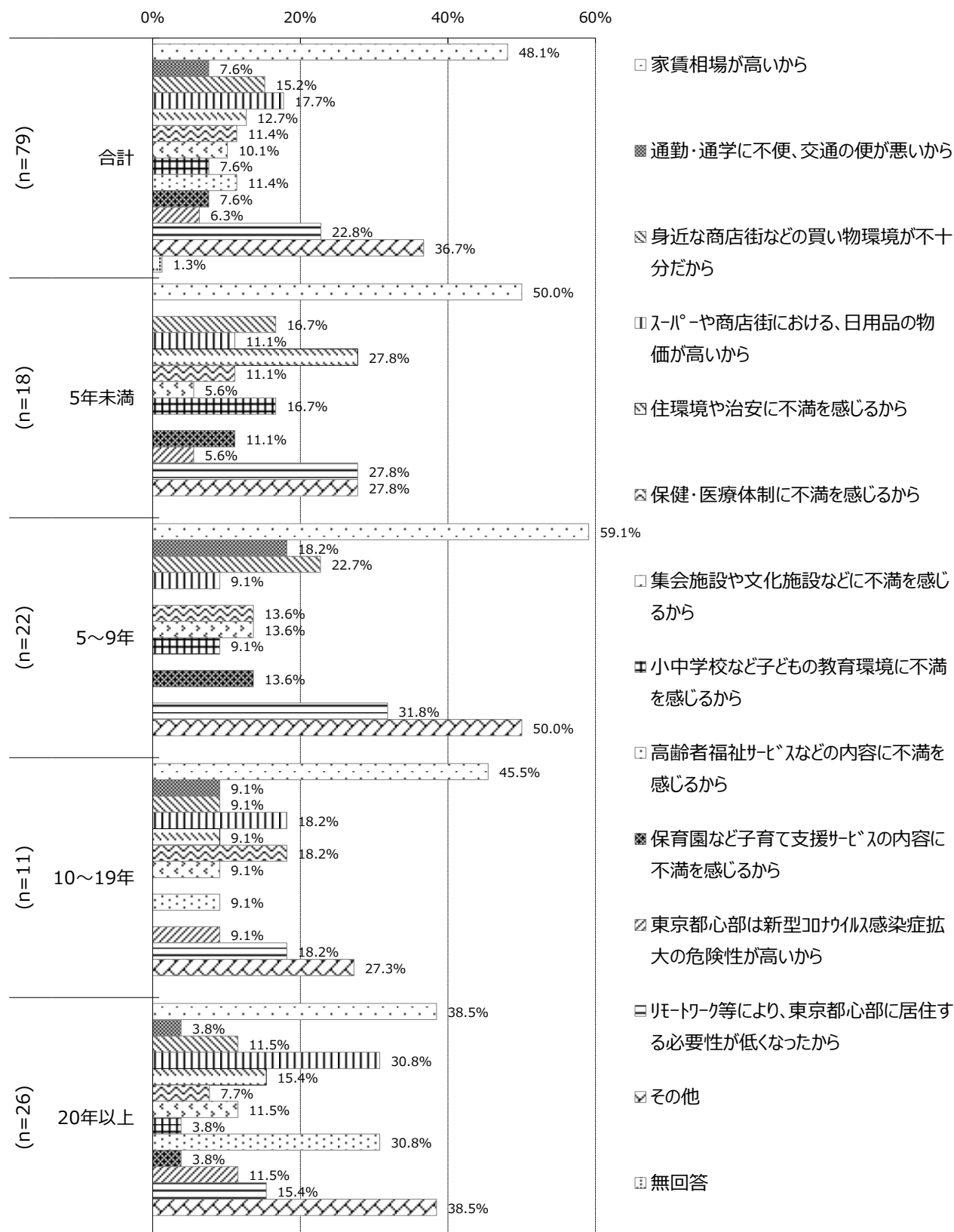
<その他の不満> 【13名】

- ・ 芸能事務所ができてから、特に 20 時以降の中目黒駅近辺の治安が非常に悪い
- ・ 地域コミュニティが感じられず孤独感が強い
- ・ 地方で、のんびりと静かな環境で生活したい
- ・ 長い間住み続けているため、他の場所にも住んでみたい

2) 居住年数別

居住年数に関わらず、「家賃相場が高いから」の回答割合が高い。「5年未満」では「住環境や治安に不満を感じるから」や「リモートワーク等により、東京都心部に居住する必要性が低くなったから」、「20年以上」では「スーパーや商店街における、日用品の物価が高いから」や「高齢者福祉サービスなどの内容に不満を感じるから」の割合も高くなっている。

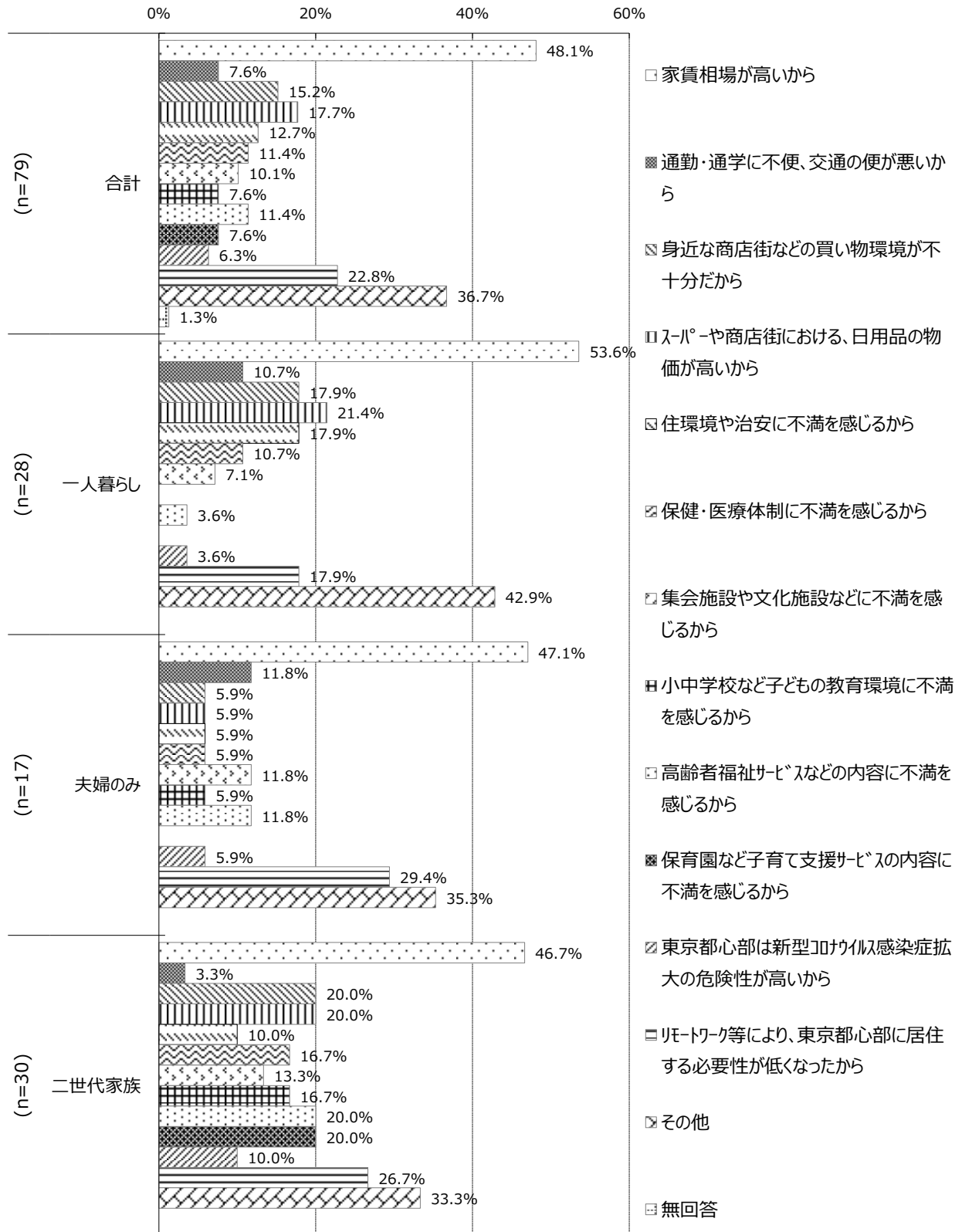
図表 40 目黒区に居住したくない理由（居住年数別）



3) 世帯構成別

「一人暮らし」で「家賃相場が高いから」の割合が相対的に高く、「二世世代家族（親と子ども）」では、「保育園など子育て支援サービスの内容に不満を感じるから」の割合が他の世帯構成と比較して高くなっている。

図表 41 目黒区に居住したくない理由（世帯構成別）



注釈) 「三世帯家族」「その他」は回答者数が1と少ないため、クロス集計からは除いている。

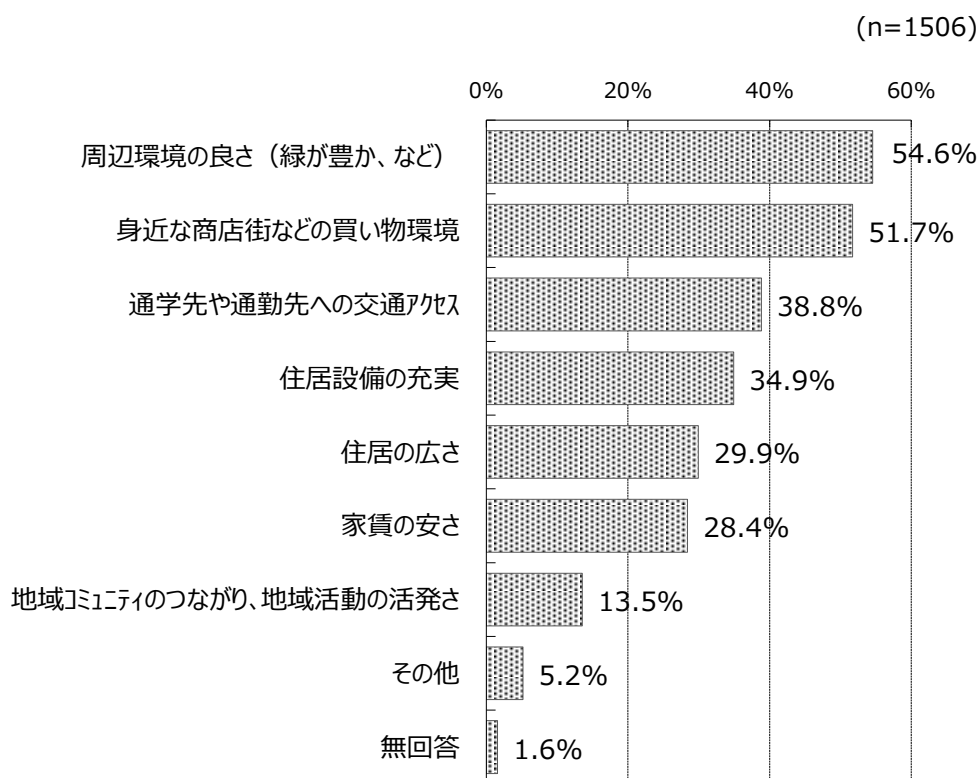
⑤今後の住環境で重視すること

問4 今後の住環境においては、どのようなことが重要だと思いますか。
(あてはまるもの3つまでに○)

1) 全体

今後の住環境において重要だと思うことを尋ねたところ、「周辺環境の良さ（緑が豊か、など）」の割合が最も高く 54.6%となっている。次いで、「身近な商店街などの買い物環境（51.7%)」、「通学先や通勤先への交通アクセス（38.8%)」となっている。

図表 42 今後の住環境で重視すること

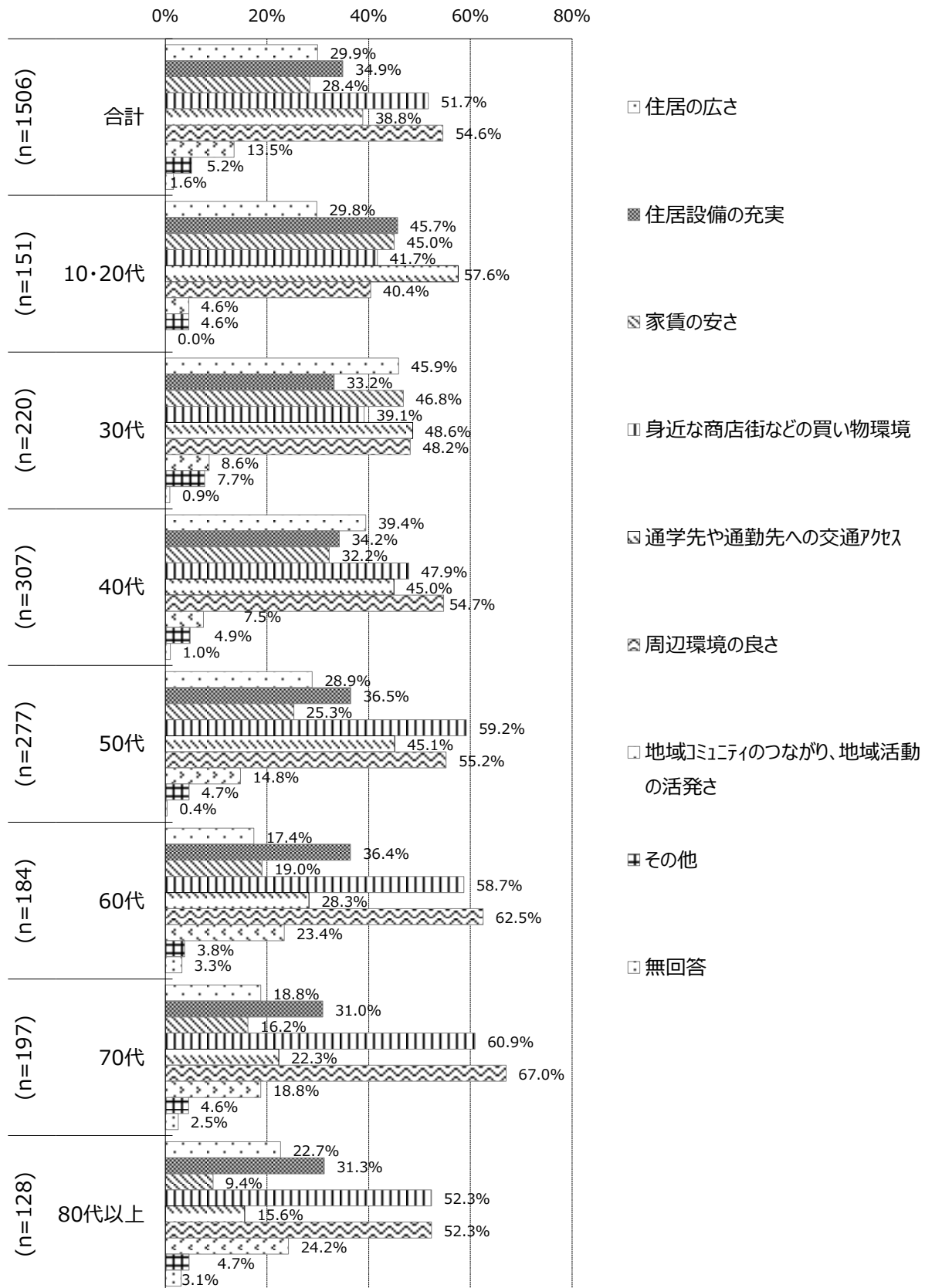


注釈) 単純集計のグラフのみ、回答割合の高かった選択肢順に並び替えている。

2) 年齢別

10・20代では「通学先や通勤先への交通アクセス」や「住宅設備の充実」「家賃の安さ」の割合が相対的に高い。30代では「住居の広さ」、「家賃の安さ」など複数の項目で割合が高く、40代以上では「身近な商店街などの買い物環境」「周辺環境の良さ」の割合が高くなる傾向がある。

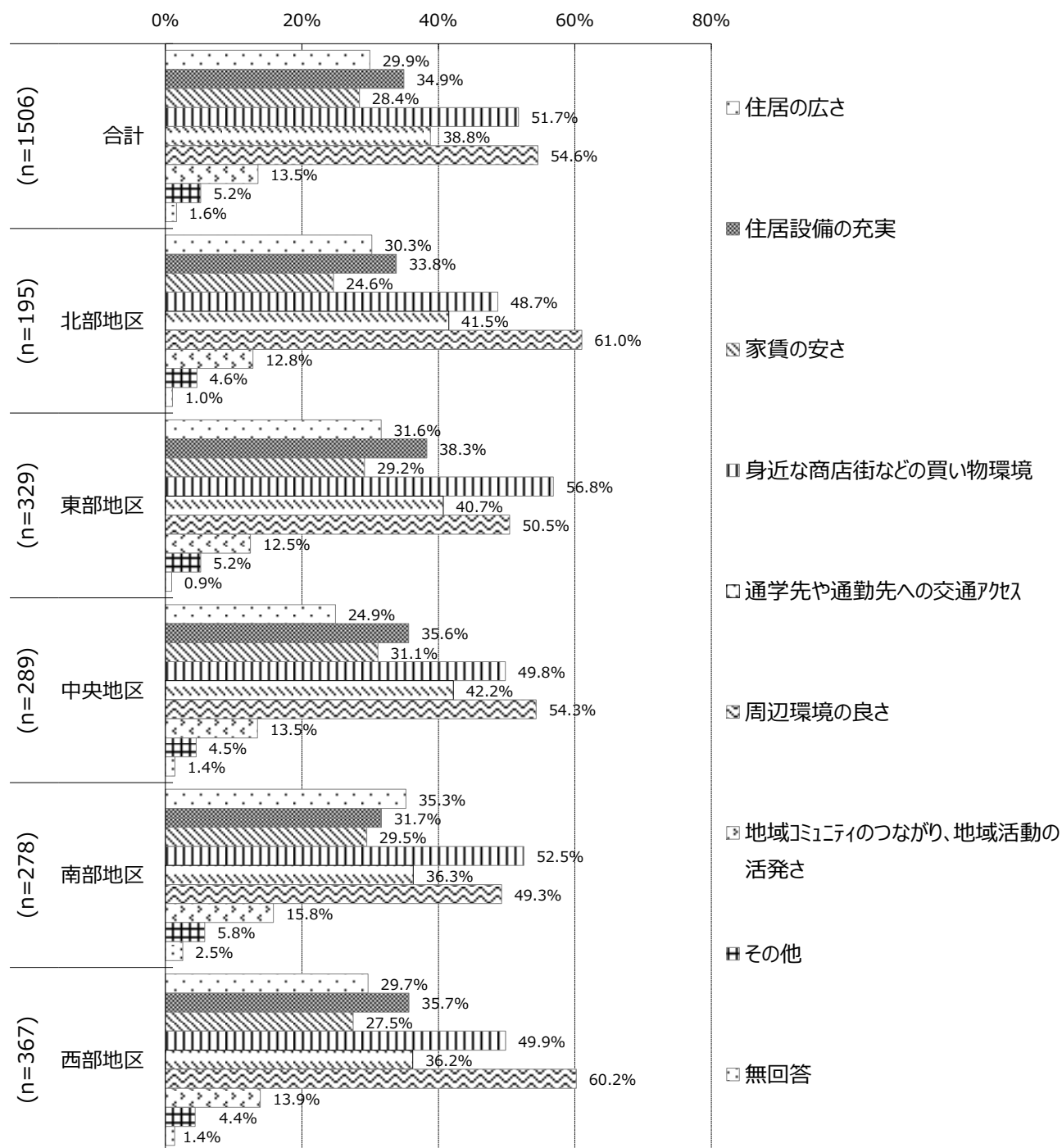
図表 43 今後の住環境で重視すること（年齢別）



3) 地区別

北部地区と西部地区で「周辺環境の良さ」、東部地区で「身近な商店街などの買い物環境」の割合がやや高くなっている。

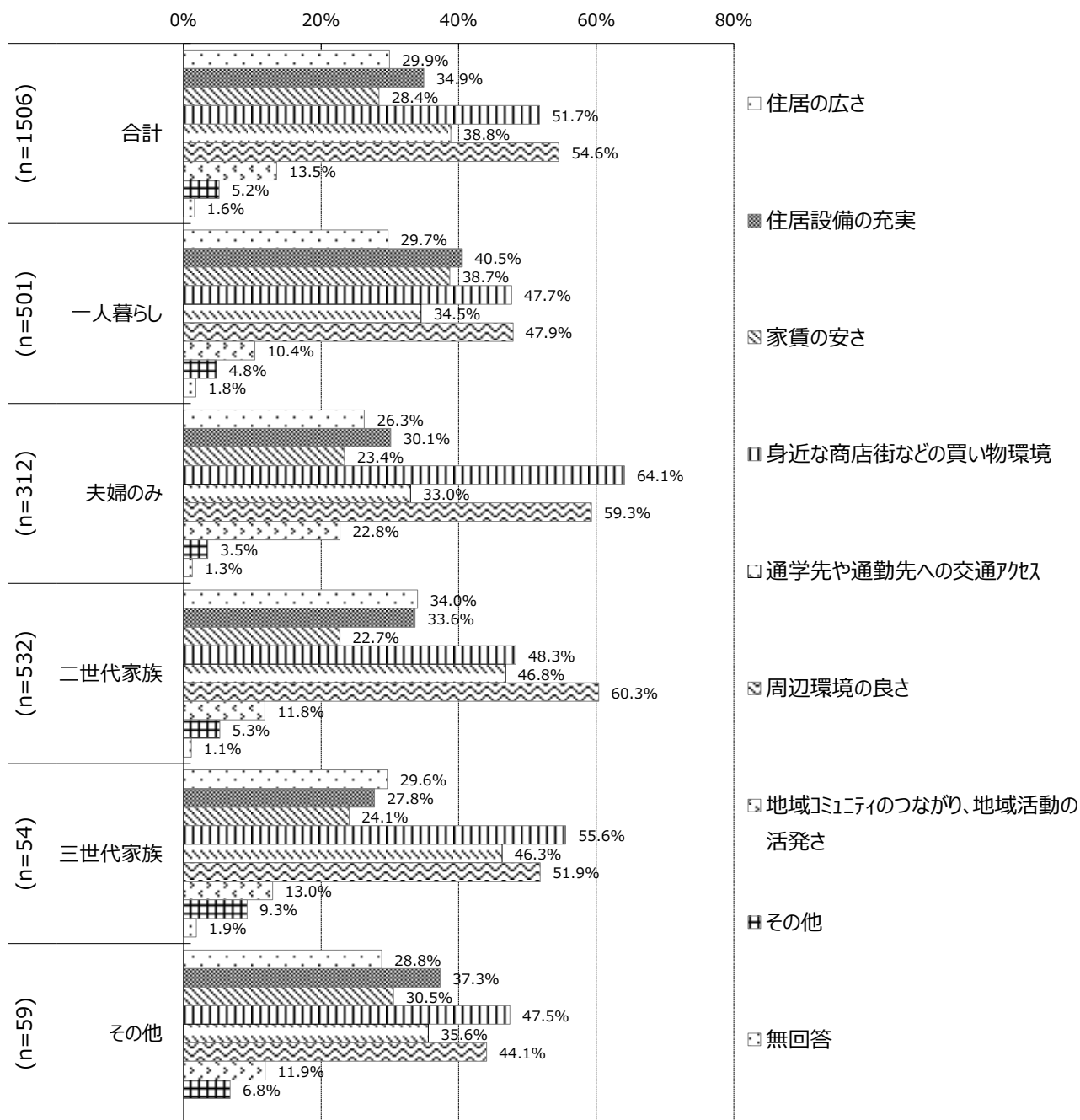
図表 44 今後の住環境で重視すること（地区別）



4) 世帯構成別

他の世帯構成と比較すると、「一人暮らし」で「家賃の安さ」の割合が高くなっている。「夫婦のみ」では、「身近な商店街などの買い物環境」の割合が高くなっている。

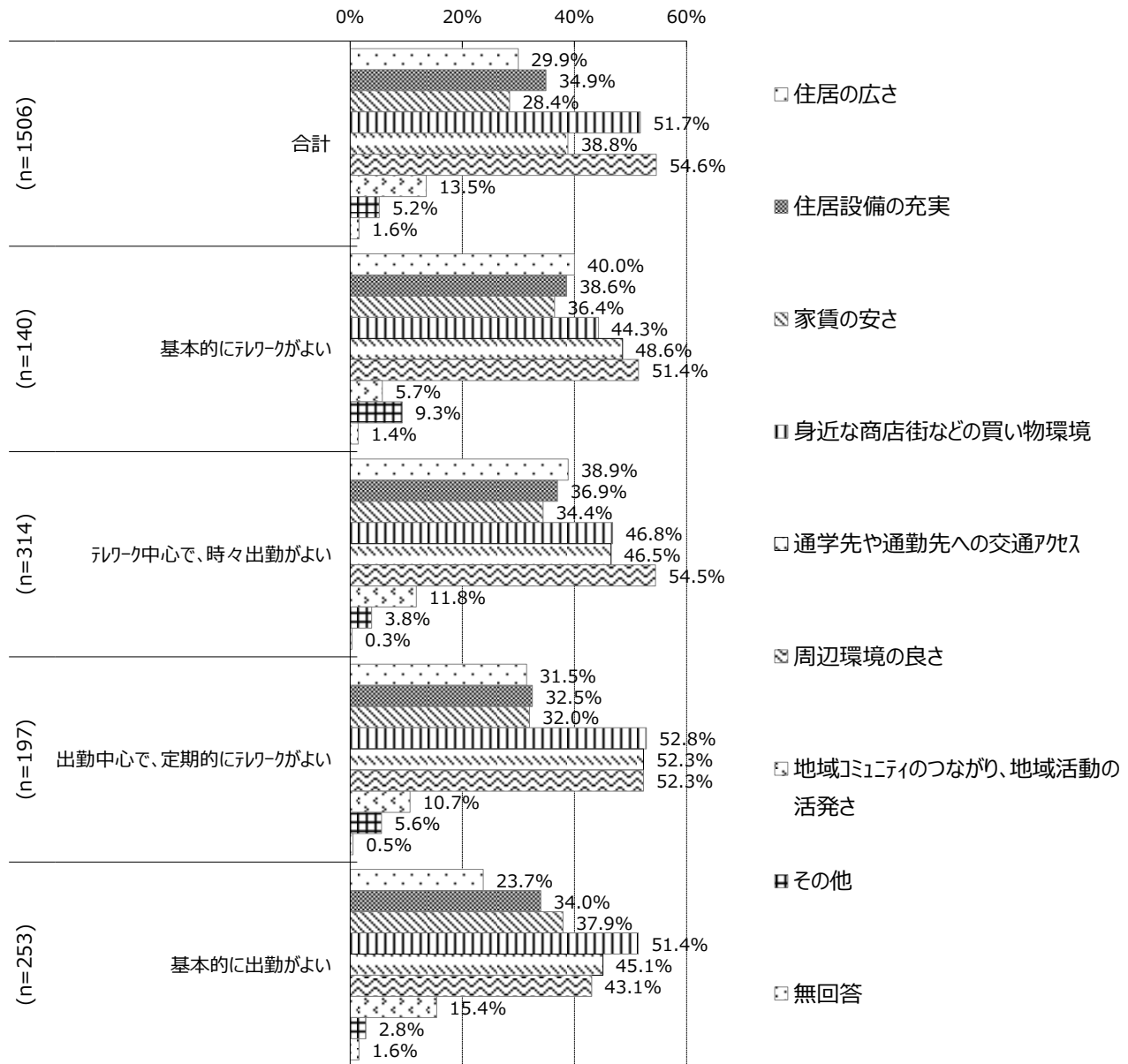
図表 45 今後の住環境で重視すること（世帯構成別）



5)テレワーク意向別

問6-1(54ページ)にて後述する、今後の働き方の意向について、「基本的にテレワークがよい」と「テレワーク中心で、時々出勤がよい」を合わせた『テレワーク意向』は、「出勤中心で、定期的にテレワークがよい」と「基本的に出勤がよい」を合わせた『出勤意向』より、「住居の広さ」を重視する割合が高くなっている。

図表 46 今後の住環境で重視すること(テレワーク意向別)



(3) 暮らし向き・仕事

- 昨年と比較した暮らし向きについて、「変わらない (69.6%)」の次に「苦しくなった (21.5%)」の割合が高く、その理由としては、新型コロナウイルス感染拡大に起因する理由が52.0%と過半を占めている。
- 自営業や働いていない人を除く目黒区民の勤務状況としては、基本的に出勤するという人が33.3%で多く、「出勤中心で、定期的にテレワーク」と合わせた原則『出勤』の割合は43.5%を占めている。今後のテレワーク意向を尋ねたところ、『テレワーク意向』と『出勤意向』がおおむね半数程度ずつであり、30~40代で『テレワーク意向』の割合が高くなっている。

①暮らし向きの変化の状況

問5 あなたの暮らし向き（経済状況）は、今年の今ごろと比べてどうですか。
（あてはまるもの1つに○）

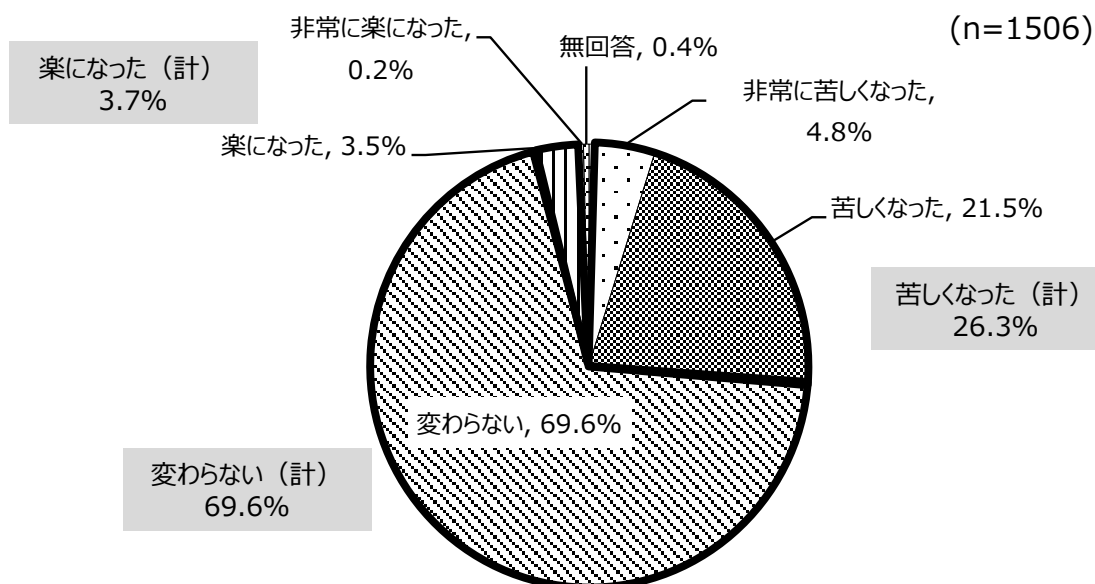
1) 全体

今年の同じ時期と比べた暮らし向き（経済状況）を尋ねたところ、「変わらない」の割合が最も高く69.6%となっている。次いで、「苦しくなった (21.5%)」、「非常に苦しくなった (4.8%)」となっている。

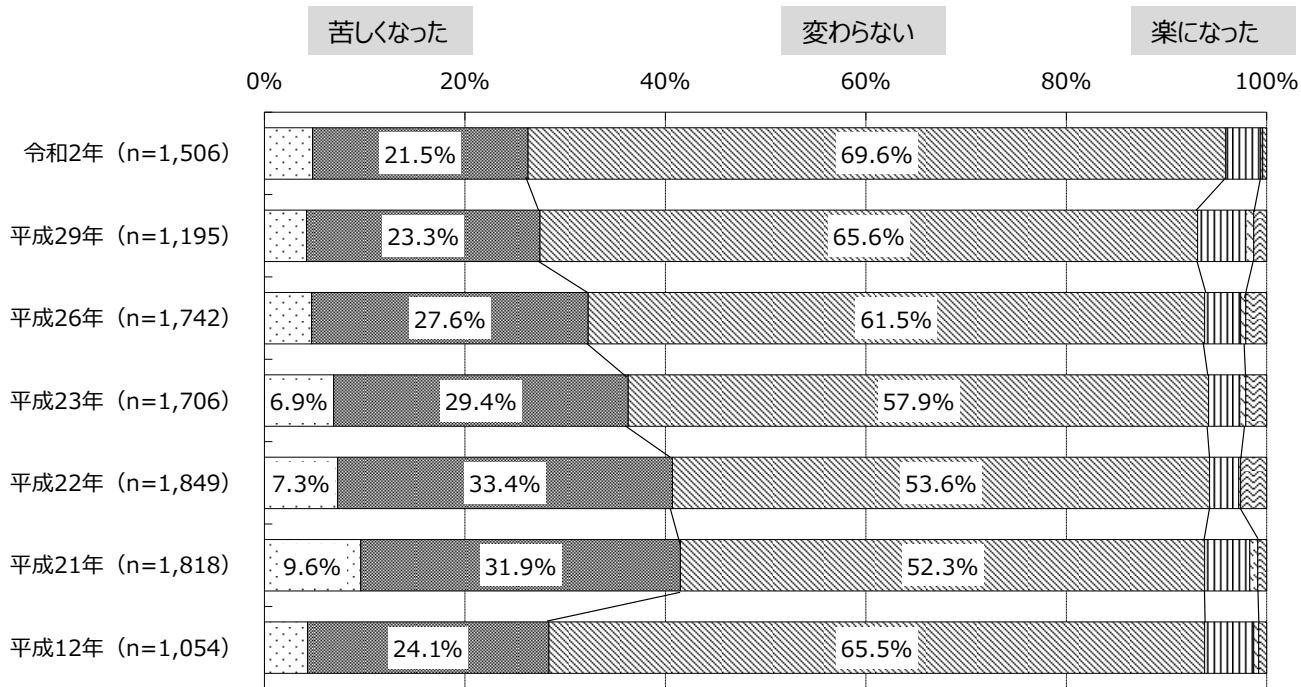
また、「非常に苦しくなった」と「苦しくなった」を合わせて『苦しくなった』、「楽になった」と「非常に楽になった」を合わせて『楽になった』とすると、『苦しくなった』が26.3%、『楽になった』が3.7%となり、苦しくなった人の方が多いことが分かる。

「暮らし向きの変化の状況（経年変化）」（図表 48）を見ると、平成21年以降は『苦しくなった』の割合が減少傾向である。

図表 47 暮らし向きの変化の状況



図表 48 暮らし向きの変化の状況（経年変化）



□非常に苦しくなった ■苦しくなった ▨変わらない □楽になった ▨非常に楽になった ▨無回答

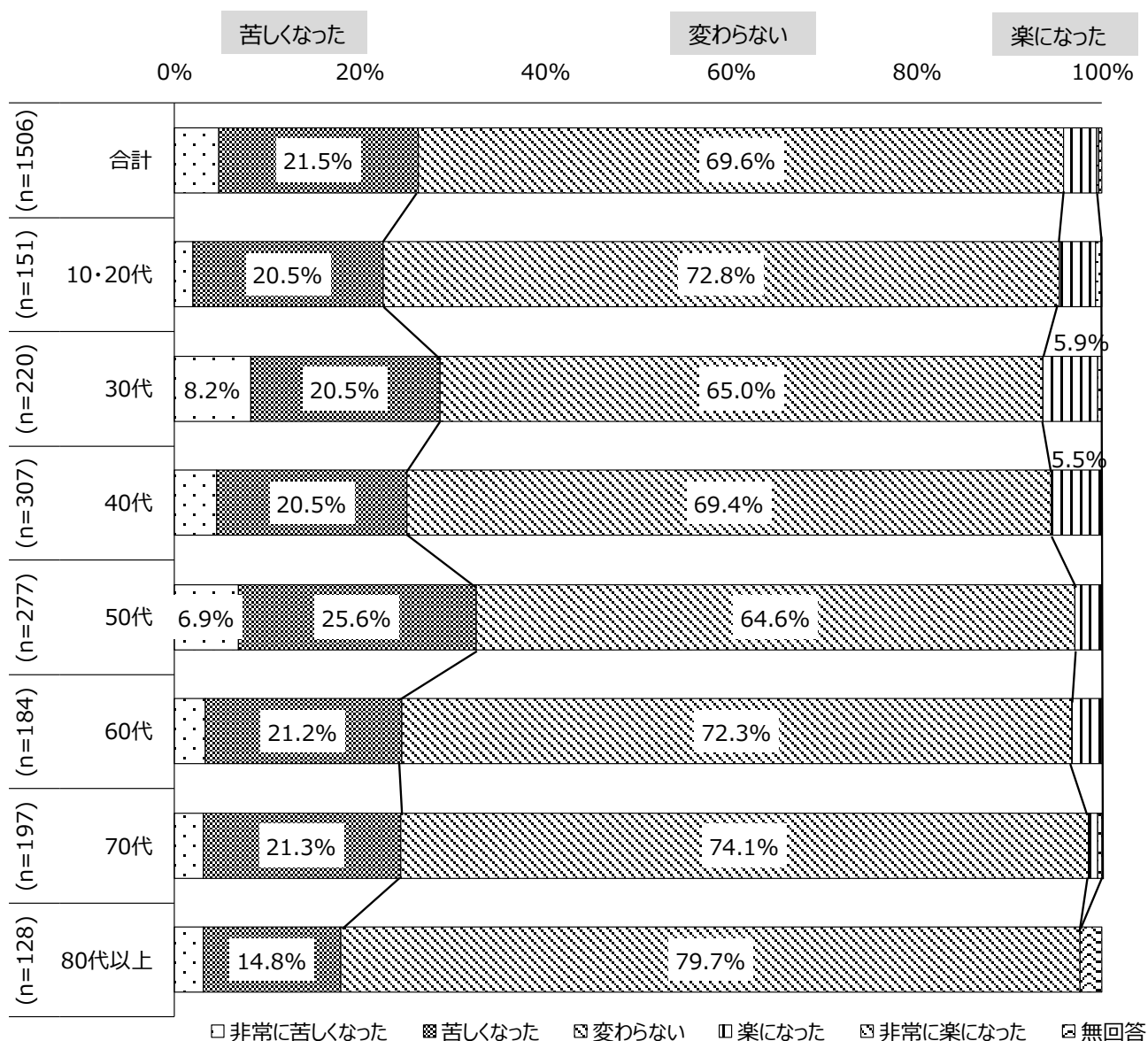
注釈) グラフの 5.0%以下のデータラベルは非表示

	非常に苦しく なった	苦しくなった	変わらない	楽になった	非常に楽に なった	無回答
令和2年 (n=1,506)	4.8%	21.5%	69.6%	3.5%	0.2%	0.4%
平成29年 (n=1,195)	4.2%	23.3%	65.6%	4.8%	0.8%	1.3%
平成26年 (n=1,742)	4.7%	27.6%	61.5%	3.6%	0.5%	2.1%
平成23年 (n=1,706)	6.9%	29.4%	57.9%	3.1%	0.6%	2.1%
平成22年 (n=1,849)	7.3%	33.4%	53.6%	2.9%	0.2%	2.6%
平成21年 (n=1,818)	9.6%	31.9%	52.3%	4.5%	0.8%	0.9%
平成12年 (n=1,054)	4.3%	24.1%	65.5%	4.9%	0.5%	0.8%

2) 年齢別

「非常に苦しくなった」と「苦しくなった」を合わせた『苦しくなった』の割合を見ると、50代で最も高くなっている。

図表 49 暮らし向きの変化の状況（年齢別）



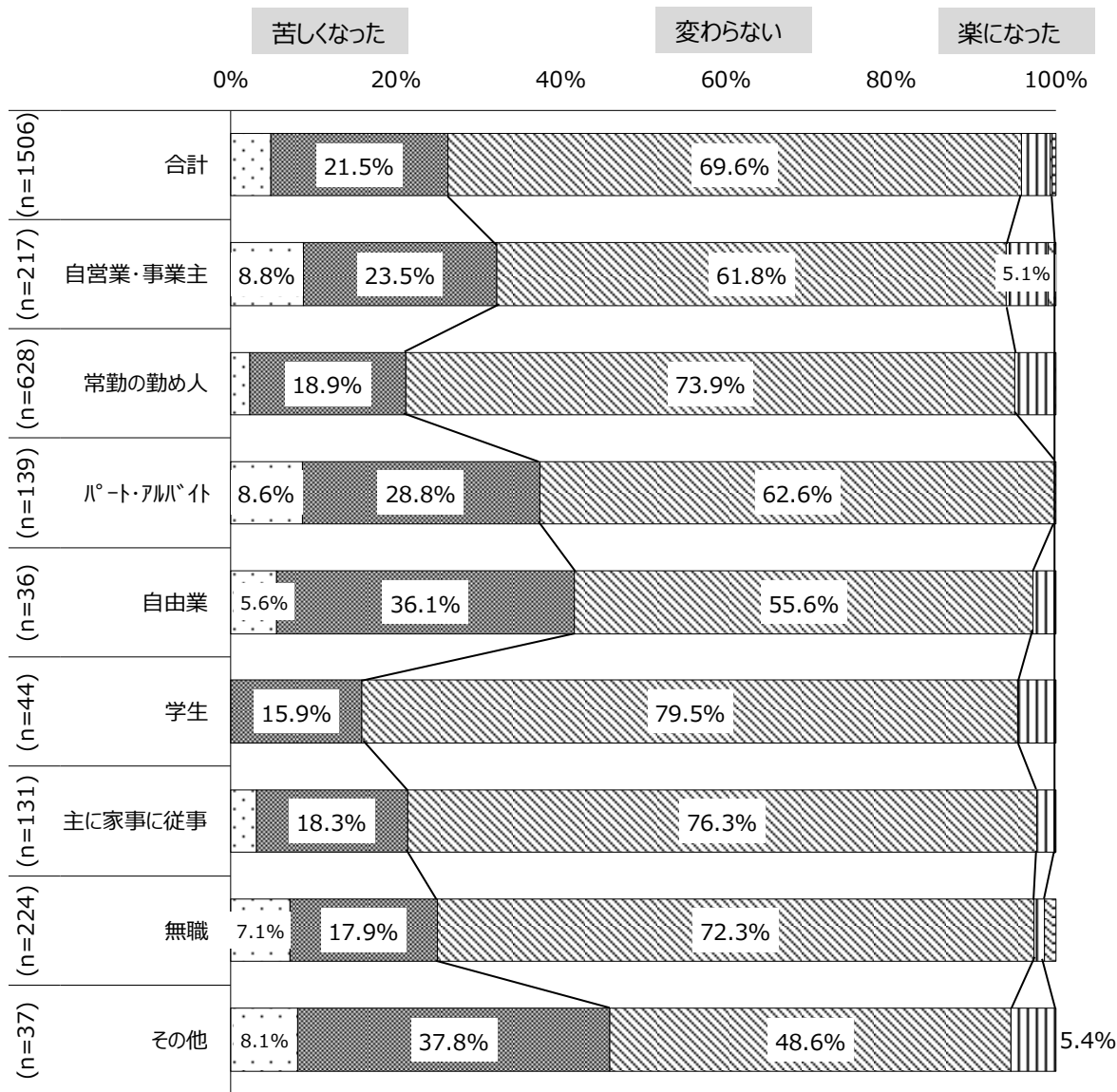
注釈) グラフの 5.0%以下のデータラベルは非表示

	非常に苦しくなった	苦しくなった	変わらない	楽になった	非常に楽になった	無回答
(n=1506) 合計	4.8%	21.5%	69.6%	3.5%	0.2%	0.4%
(n=151) 10・20代	2.0%	20.5%	72.8%	4.0%	0.7%	0.0%
(n=220) 30代	8.2%	20.5%	65.0%	5.9%	0.5%	0.0%
(n=307) 40代	4.6%	20.5%	69.4%	5.5%	0.0%	0.0%
(n=277) 50代	6.9%	25.6%	64.6%	2.9%	0.0%	0.0%
(n=184) 60代	3.3%	21.2%	72.3%	3.3%	0.0%	0.0%
(n=197) 70代	3.0%	21.3%	74.1%	1.0%	0.5%	0.0%
(n=128) 80代以上	3.1%	14.8%	79.7%	0.0%	0.0%	2.3%

3) 職業別

「自営業・事業主」、「パート・アルバイト」で「非常に苦しくなった」の割合が高い。また、「非常に苦しくなった」と「苦しくなった」を合わせた『苦しくなった』の割合を見ると、「自由業」、「パート・アルバイト」で高くなっている。

図表 50 暮らし向きの変化の状況（職業別）



□非常に苦しくなった ■苦しくなった ▨変わらない □楽になった □非常に楽になった □無回答

注釈) グラフの 5.0%以下のデータラベルは非表示

	非常に苦し くなった	苦し くなった	変わらない	楽になった	非常に楽に なった	無回答
(n=1506) 合計	4.8%	21.5%	69.6%	3.5%	0.2%	0.4%
(n=217) 自営業・事業主	8.8%	23.5%	61.8%	5.1%	0.9%	0.0%
(n=628) 常勤の勤め人	2.2%	18.9%	73.9%	4.8%	0.2%	0.0%
(n=139) パート・アルバイト	8.6%	28.8%	62.6%	0.0%	0.0%	0.0%
(n=36) 自由業	5.6%	36.1%	55.6%	2.8%	0.0%	0.0%
(n=44) 学生	0.0%	15.9%	79.5%	4.5%	0.0%	0.0%
(n=131) 主に家事に従事	3.1%	18.3%	76.3%	2.3%	0.0%	0.0%
(n=224) 無職	7.1%	17.9%	72.3%	1.3%	0.0%	1.3%
(n=37) その他	8.1%	37.8%	48.6%	5.4%	0.0%	0.0%

②暮らし向きの変化の理由

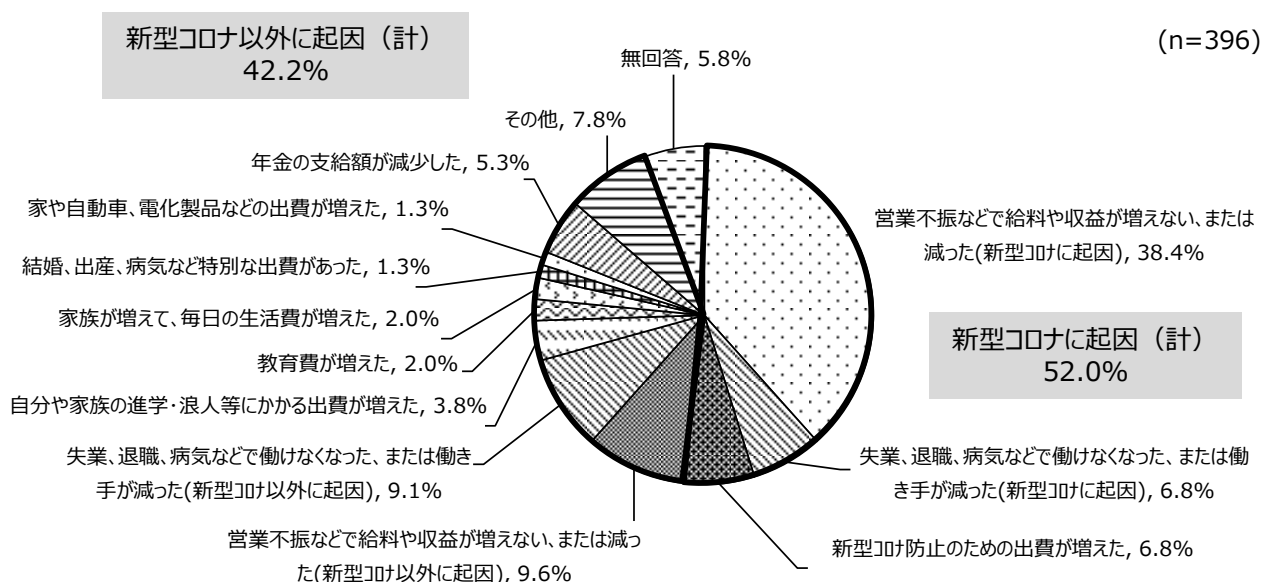
問5-1 暮らし向きが苦しくなったのは、主にどのような理由からですか。
(あてはまるもの1つに○)

1)全体

暮らし向きが「非常に苦しくなった」「苦しくなった」と回答した人に、その主な理由(1つ)を尋ねたところ、「営業不振などで給料や収益が増えない、または減った(新型コロナに起因)」の割合が最も高く38.4%となっている。次いで、「営業不振などで給料や収益が増えない、または減った(新型コロナ以外に起因)」(9.6%)、「失業、退職、病気などで働けなくなった、または働き手が減った(新型コロナ以外に起因)」(9.1%)となっている。

「営業不振などで給料や収益が増えない、または減った(新型コロナに起因)」と「失業、退職、病気などで働けなくなった、または働き手が減った(新型コロナに起因)」、「新型コロナ防止のため出費が増えた」を合わせて『新型コロナに起因』、それ以外を『新型コロナ以外に起因』とすると、『新型コロナに起因』が52.0%で過半数を占めている。

図表 51 暮らし向きの変化の理由



2) 年齢別

10・20代で「給料や収入が増えない、減った(新型コロナに起因)」の回答割合が高いほか、70代以上で「年金の支給額が減少した」、50代で「失業、退職、病気などで働けなくなった(新型コロナに起因)」、「失業、退職、病気などで働けなくなった(新型コロナ以外に起因)」の割合が他の世代と比較して高くなっている。

「給料や収益が増えない、減った(新型コロナに起因)」と「失業、退職、病気などで働けなくなった(新型コロナに起因)」、「新型コロナ防止のための出費が増えた」を合わせた『新型コロナに起因』の割合を見ると、40代が高く、70代、80代以上で低くなっている。

図表 52 暮らし向きの変化の理由 (年齢別)

		新型コロナに起因			新型コロナ以外に起因			
		給料や収益が増えない、減った(新型コロナに起因)	失業、退職、病気などで働けなくなった(新型コロナに起因)	新型コロナ防止のための出費が増えた	給料や収益が増えない、減った(新型コロナ以外に起因)	失業、退職、病気などで働けなくなった(新型コロナ以外に起因)	自分や家族の進学・浪人等にかかる出費が増えた	教育費が増えた
(n=396)	合計	38.4%	6.8%	6.8%	9.6%	9.1%	3.8%	2.0%
(n=34)	10・20代	50.0%	2.9%	5.9%	5.9%	14.7%	2.9%	0.0%
(n=63)	30代	41.3%	3.2%	9.5%	11.1%	11.1%	0.0%	1.6%
(n=77)	40代	46.8%	7.8%	6.5%	9.1%	1.3%	6.5%	6.5%
(n=90)	50代	38.9%	11.1%	5.6%	11.1%	14.4%	6.7%	2.2%
(n=45)	60代	44.4%	6.7%	4.4%	13.3%	4.4%	4.4%	0.0%
(n=48)	70代	20.8%	6.3%	10.4%	8.3%	8.3%	0.0%	0.0%
(n=23)	80代以上	8.7%	4.3%	4.3%	0.0%	13.0%	4.3%	0.0%

		家族が増えて、毎日の生活費が増えた	結婚、出産、病気など特別な出費があった	家や自動車、電化製品などの出費が増えた	年金の支給額が減少した	その他	無回答
(n=396)	合計	2.0%	1.3%	1.3%	5.3%	7.8%	5.8%
(n=34)	10・20代	0.0%	2.9%	2.9%	0.0%	8.8%	2.9%
(n=63)	30代	9.5%	3.2%	1.6%	0.0%	6.3%	1.6%
(n=77)	40代	1.3%	0.0%	0.0%	1.3%	7.8%	5.2%
(n=90)	50代	0.0%	1.1%	1.1%	0.0%	4.4%	3.3%
(n=45)	60代	0.0%	0.0%	0.0%	2.2%	11.1%	8.9%
(n=48)	70代	0.0%	0.0%	4.2%	22.9%	6.3%	12.5%
(n=23)	80代以上	0.0%	4.3%	0.0%	30.4%	21.7%	8.7%

3) 職業別

「自営業・事業主」、「パート・アルバイト」で「給料や収益が増えない、減った(新型コロナに起因)」の割合が他の職業と比較して高く、「常勤の勤め人」で「給料や収益が増えない、減った(新型コロナ以外に起因)」の割合が他の職業と比較してやや高くなっている。

「給料や収益が増えない、減った(新型コロナに起因)」と「失業、退職、病気などで働けなくなった(新型コロナに起因)」、「新型コロナ防止のための出費が増えた」を合わせた『新型コロナに起因』の割合を見ると、「自営業・事業主」、「パート・アルバイト」において高くなっている。

図表 53 暮らし向きの変化の理由(職業別)

		新型コロナに起因			新型コロナ以外に起因			
		給料や収益が増えない、減った(新型コロナに起因)	失業、退職、病気などで働けなくなった(新型コロナに起因)	新型コロナ防止のための出費が増えた	給料や収益が増えない、減った(新型コロナ以外に起因)	失業、退職、病気などで働けなくなった(新型コロナ以外に起因)	自分や家族の進学・浪人等にかかる出費が増えた	教育費が増えた
(n=396)	合計	38.4%	6.8%	6.8%	9.6%	9.1%	3.8%	2.0%
(n=70)	自営業・事業主	65.7%	5.7%	2.9%	5.7%	2.9%	1.4%	2.9%
(n=133)	常勤の勤め人	40.6%	1.5%	9.8%	17.3%	6.0%	3.8%	1.5%
(n=52)	パート・アルバイト	48.1%	7.7%	3.8%	9.6%	5.8%	11.5%	1.9%
(n=15)	自由業	40.0%	13.3%	0.0%	13.3%	6.7%	6.7%	0.0%
(n=7)	学生	28.6%	0.0%	14.3%	0.0%	14.3%	14.3%	0.0%
(n=28)	主に家事に従事	25.0%	3.6%	10.7%	7.1%	7.1%	3.6%	10.7%
(n=56)	無職	3.6%	17.9%	7.1%	0.0%	26.8%	0.0%	0.0%
(n=17)	その他	23.5%	17.6%	5.9%	0.0%	17.6%	0.0%	0.0%

		家族が増えて、毎日の生活費が増えた	結婚、出産、病気など特別な出費があった	家や自動車、電化製品などの出費が増えた	年金の支給額が減少した	その他	無回答
(n=396)	合計	2.0%	1.3%	1.3%	5.3%	7.8%	5.8%
(n=70)	自営業・事業主	0.0%	0.0%	2.9%	0.0%	8.6%	1.4%
(n=133)	常勤の勤め人	3.8%	2.3%	0.8%	0.8%	7.5%	4.5%
(n=52)	パート・アルバイト	1.9%	0.0%	1.9%	0.0%	1.9%	5.8%
(n=15)	自由業	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	13.3%	6.7%
(n=7)	学生	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	14.3%
(n=28)	主に家事に従事	3.6%	3.6%	0.0%	10.7%	10.7%	3.6%
(n=56)	無職	0.0%	1.8%	1.8%	25.0%	5.4%	10.7%
(n=17)	その他	0.0%	0.0%	0.0%	5.9%	23.5%	5.9%

4) 世帯構成別

夫婦のみ世帯で「給料や収益が増えない、減った(新型コロナに起因)」の割合が他の世帯構成と比較してやや高くなっている。

「給料や収益が増えない、減った(新型コロナに起因)」と「失業、退職、病気などで働けなくなった(新型コロナに起因)」、「新型コロナ防止のための出費が増えた」を合わせた『新型コロナに起因』の割合を見ると、「一人暮らし」、「夫婦のみ」において高くなっている。

図表 54 暮らし向きの変化の理由 (世帯構成別)

		新型コロナに起因			新型コロナ以外に起因			
		給料や収益が増えない、減った (新型コロナに起因)	失業、退職、病気などで働けなくなった (新型コロナに起因)	新型コロナ防止のための出費が増えた	給料や収益が増えない、減った (新型コロナ以外に起因)	失業、退職、病気などで働けなくなった (新型コロナ以外に起因)	自分や家族の進学・浪人等にかかる出費が増えた	教育費が増えた
(n=396)	合計	38.4%	6.8%	6.8%	9.6%	9.1%	3.8%	2.0%
(n=122)	一人暮らし	39.3%	8.2%	9.0%	8.2%	13.1%	0.0%	0.0%
(n=79)	夫婦のみ	45.6%	8.9%	2.5%	12.7%	6.3%	1.3%	0.0%
(n=140)	二世世代家族	32.1%	5.7%	7.1%	11.4%	7.1%	9.3%	5.7%
(n=16)	三世世代家族	43.8%	0.0%	6.3%	0.0%	12.5%	6.3%	0.0%
(n=21)	その他	47.6%	4.8%	9.5%	0.0%	9.5%	0.0%	0.0%

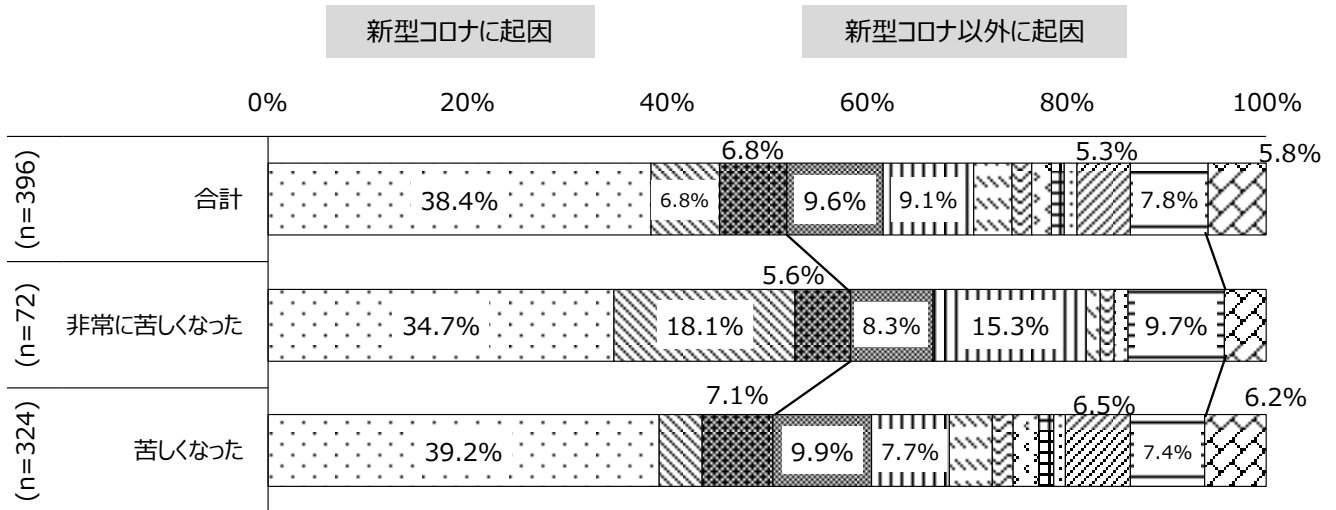
		家族が増えて、毎日の生活費が増えた	結婚、出産、病気など特別な出費があった	家や自動車、電化製品などの出費が増えた	年金の支給額が減少した	その他	無回答
(n=396)	合計	2.0%	1.3%	1.3%	5.3%	7.8%	5.8%
(n=122)	一人暮らし	0.0%	1.6%	0.8%	5.7%	8.2%	5.7%
(n=79)	夫婦のみ	1.3%	1.3%	1.3%	10.1%	6.3%	2.5%
(n=140)	二世世代家族	3.6%	1.4%	2.1%	1.4%	6.4%	6.4%
(n=16)	三世世代家族	0.0%	0.0%	0.0%	6.3%	25.0%	0.0%
(n=21)	その他	4.8%	0.0%	0.0%	4.8%	9.5%	9.5%

5)暮らし向きの変化の状況別

暮らし向きが「非常に苦しくなった」と回答した人の中では「失業、退職、病気などで働けなくなった(新型コロナに起因)」、「失業、退職、病気などで働けなくなった(新型コロナ以外に起因)」の割合が他と比較して高くなっている。

「給料や収益が増えない、減った(新型コロナに起因)」と「失業、退職、病気などで働けなくなった(新型コロナに起因)」、「新型コロナ防止のための出費が増えた」を合わせた『新型コロナに起因』の割合を見ると、「非常に苦しくなった」の回答者において高くなっている。

図表 55 暮らし向きの変化の理由 (①の状況別)



- 給料や収益が増えない、減った(新型コロナに起因)
- 新型コロナ防止のための出費が増えた
- 失業、退職、病気などで働けなくなった(新型コロナ以外に起因)
- 教育費が増えた
- 結婚、出産、病気など特別な出費があった
- 年金の支給額が減少した
- 無回答
- 失業、退職、病気などで働けなくなった(新型コロナに起因)
- 給料や収益が増えない、減った(新型コロナ以外に起因)
- 自分や家族の進学・浪人等にかかる出費が増えた
- 家族が増えて、毎日の生活費が増えた
- 家や自動車、電化製品などの出費が増えた
- その他

注釈) グラフの 5.0%以下のデータラベルは非表示

	給料や収益が増えない、減った(新型コロナに起因)	失業、退職、病気などで働けなくなった(新型コロナに起因)	新型コロナ防止のための出費が増えた	給料や収益が増えない、減った(新型コロナ以外に起因)	失業、退職、病気などで働けなくなった(新型コロナ以外に起因)	自分や家族の進学・浪人等にかかる出費が増えた	教育費が増えた
(n=396) 合計	38.4%	6.8%	6.8%	9.6%	9.1%	3.8%	2.0%
(n=72) 非常に苦しくなった	34.7%	18.1%	5.6%	8.3%	15.3%	1.4%	1.4%
(n=324) 苦しくなった	39.2%	4.3%	7.1%	9.9%	7.7%	4.3%	2.2%

	家族が増えて、毎日の生活費が増えた	結婚、出産、病気など特別な出費があった	家や自動車、電化製品などの出費が増えた	年金の支給額が減少した	その他	無回答
(n=396) 合計	2.0%	1.3%	1.3%	5.3%	7.8%	5.8%
(n=72) 非常に苦しくなった	0.0%	0.0%	1.4%	0.0%	9.7%	4.2%
(n=324) 苦しくなった	2.5%	1.5%	1.2%	6.5%	7.4%	6.2%

③勤務先のテレワーク導入状況

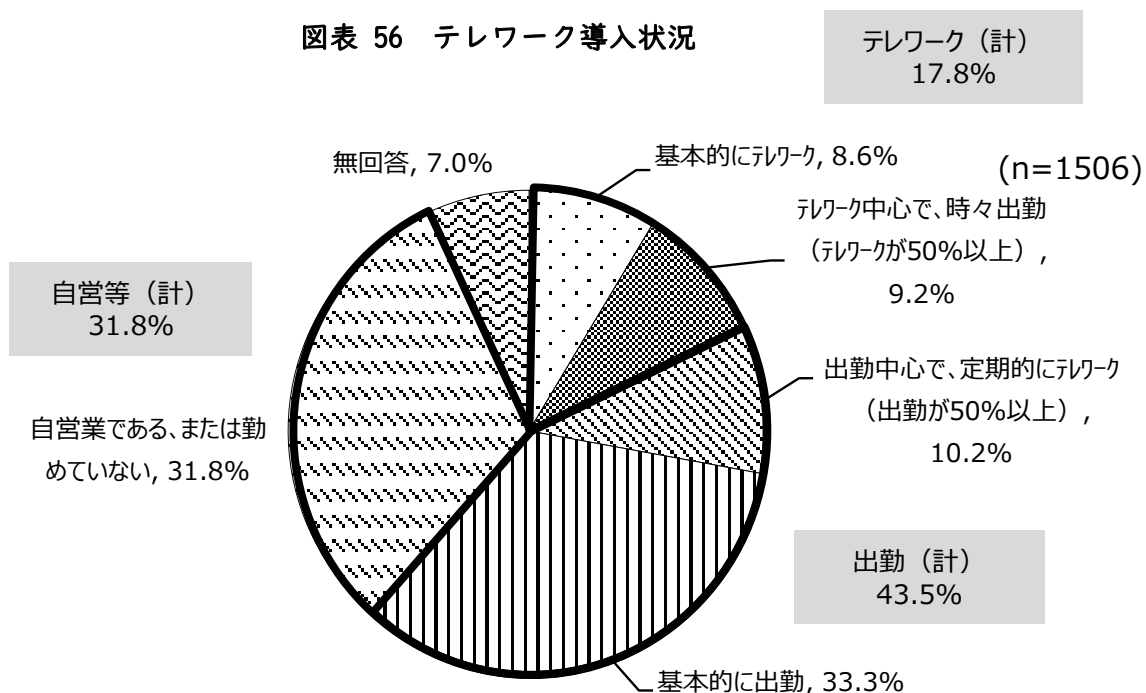
問6 あなたの勤務先での、テレワーク導入状況についてお答えください。
(あてはまるもの1つに○)

1) 全体

勤務先でのテレワークの導入状況を尋ねたところ、「基本的に出勤」の割合が最も高く 33.3% となっている。次いで、「自営業である、または勤めていない (31.8%)」、「出勤中心で、定期的にテレワーク (出勤が50%以上) (10.2%)」となっている。

また、「基本的にテレワーク」と「テレワーク中心で、時々出勤」を合わせて、『テレワーク』、「出勤中心で、定期的にテレワーク」と「基本的に出勤」を合わせて『出勤』、それ以外の「自営業である、または勤めていない」を『自営等』とすると、『出勤』の割合が 43.5% で最も高くなっている。

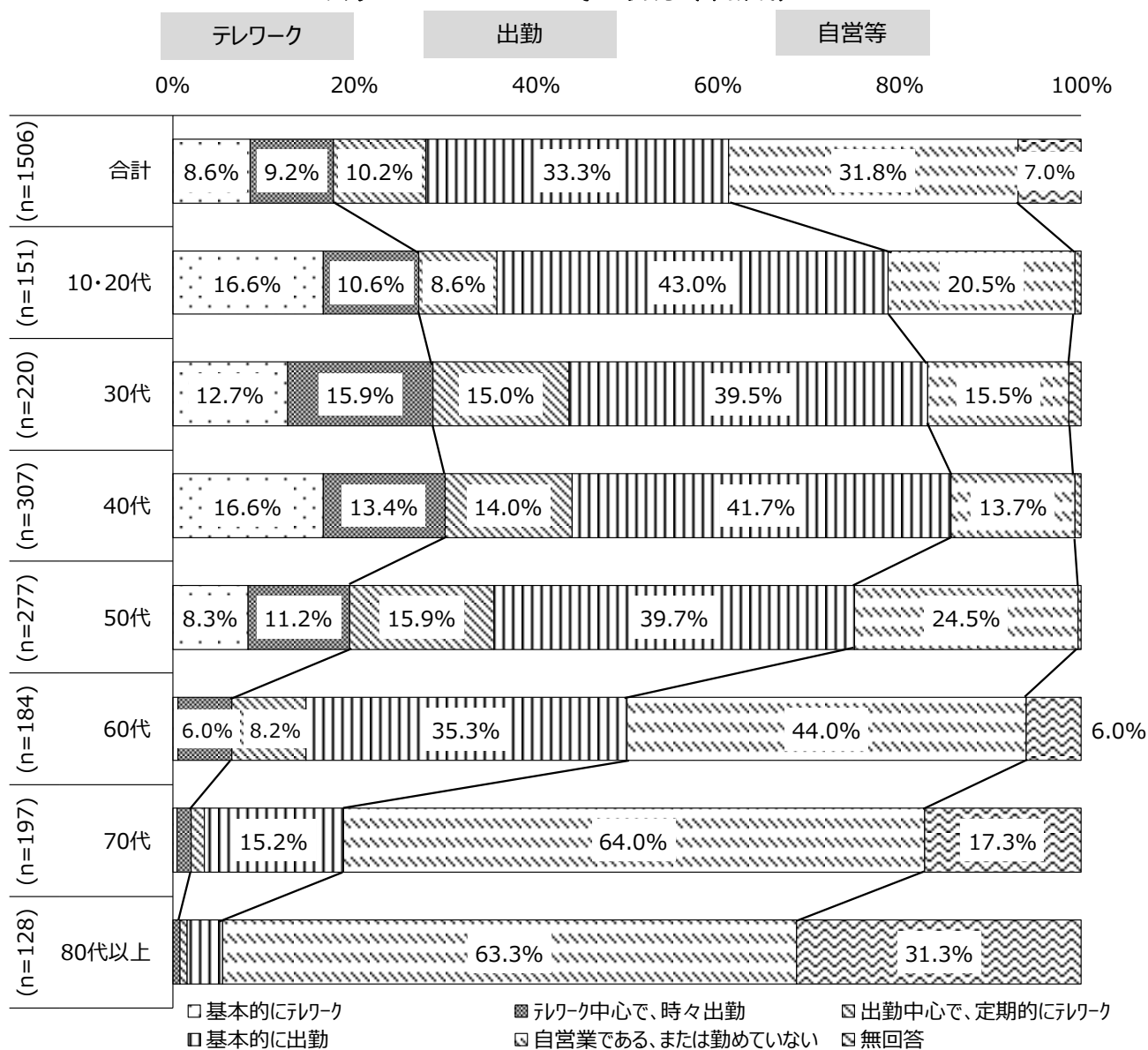
図表 56 テレワーク導入状況



2) 年齢別

10～40代で「基本的にテレワーク」と「テレワーク中心で、時々出勤」を合わせた『テレワーク』の割合が高くなっている。

図表 57 テレワーク導入状況（年齢別）



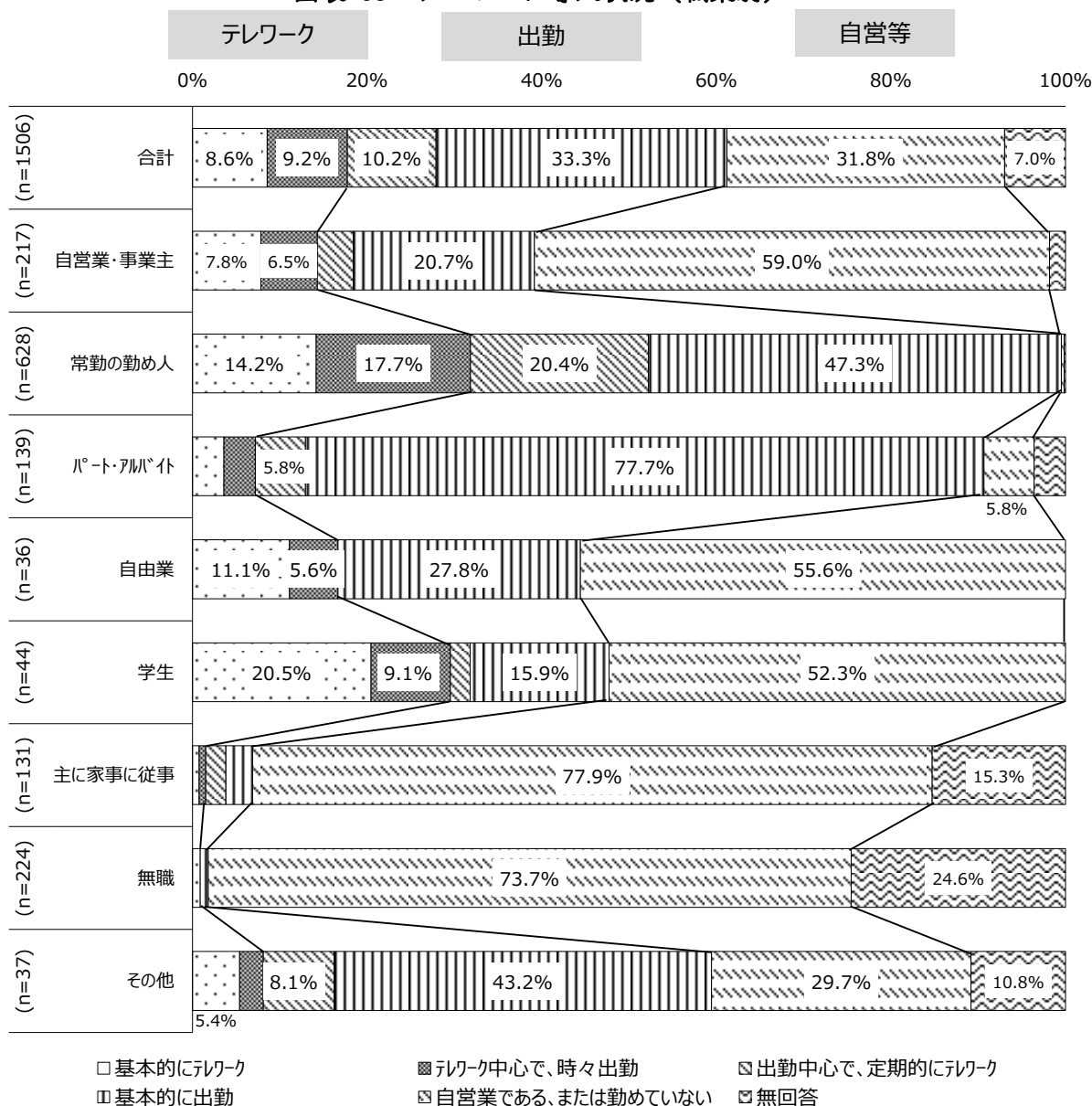
注釈) グラフの 5.0%以下のデータラベルは非表示

		基本的にテレワーク	テレワーク中心で、時々出勤	出勤中心で、定期的にテレワーク	基本的に出勤	自営業である、または勤めていない	無回答
(n=1506)	合計	8.6%	9.2%	10.2%	33.3%	31.8%	7.0%
(n=151)	10・20代	16.6%	10.6%	8.6%	43.0%	20.5%	0.7%
(n=220)	30代	12.7%	15.9%	15.0%	39.5%	15.5%	1.4%
(n=307)	40代	16.6%	13.4%	14.0%	41.7%	13.7%	0.7%
(n=277)	50代	8.3%	11.2%	15.9%	39.7%	24.5%	0.4%
(n=184)	60代	0.5%	6.0%	8.2%	35.3%	44.0%	6.0%
(n=197)	70代	0.5%	1.5%	1.5%	15.2%	64.0%	17.3%
(n=128)	80代以上	0.0%	0.8%	0.8%	3.9%	63.3%	31.3%

3) 職業別

「常勤の勤め人」と「学生」で、「基本的にテレワーク」と「テレワーク中心で、時々出勤」を合わせた『テレワーク』の割合が高くなっている。

図表 58 テレワーク導入状況（職業別）



注釈) グラフの 5.0%以下のデータラベルは非表示

	基本的にテレワーク	テレワーク中心で、時々出勤	出勤中心で、定期的にテレワーク	基本的に出勤	自営業である、または勤めていない	無回答
(n=1506) 合計	8.6%	9.2%	10.2%	33.3%	31.8%	7.0%
(n=217) 自営業・事業主	7.8%	6.5%	4.1%	20.7%	59.0%	1.8%
(n=628) 常勤の勤め人	14.2%	17.7%	20.4%	47.3%	0.3%	0.2%
(n=139) パート・アルバイト	3.6%	3.6%	5.8%	77.7%	5.8%	3.6%
(n=36) 自由業	11.1%	5.6%	0.0%	27.8%	55.6%	0.0%
(n=44) 学生	20.5%	9.1%	2.3%	15.9%	52.3%	0.0%
(n=131) 主に家事に従事	0.8%	0.8%	2.3%	3.1%	77.9%	15.3%
(n=224) 無職	0.9%	0.0%	0.0%	0.9%	73.7%	24.6%
(n=37) その他	5.4%	2.7%	8.1%	43.2%	29.7%	10.8%

④今後のテレワークへの意向

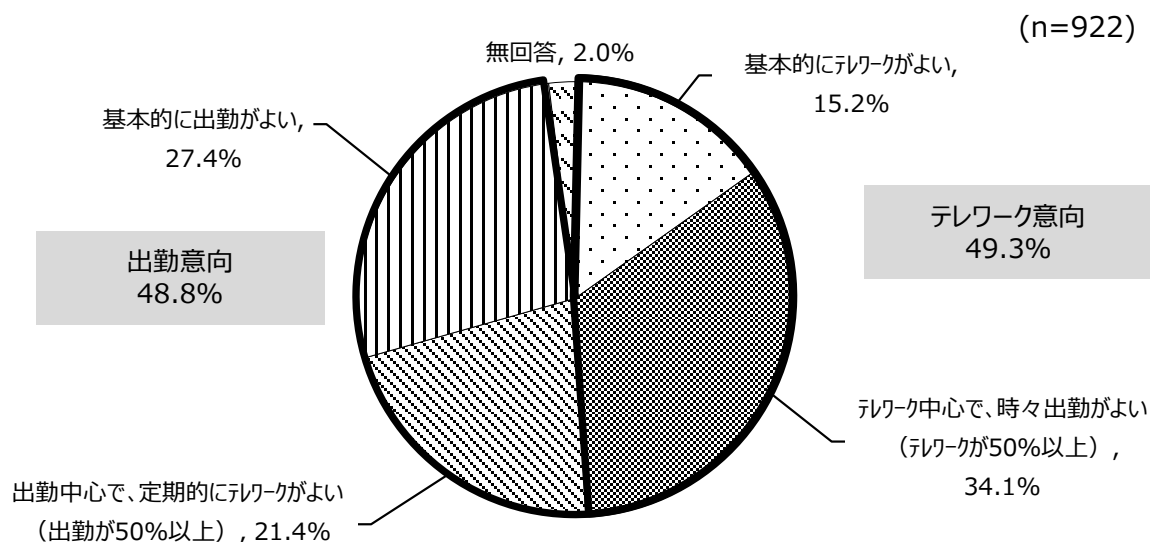
問6-1 今後、新型コロナの感染拡大が収束した場合に、あなたご自身のテレワークに対するご意向をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

1)全体

今後、新型コロナ感染拡大が収束したと仮定した場合のテレワークの意向を尋ねたところ、「テレワーク中心で、時々出勤がよい(テレワークが50%以上)」の割合が最も高く34.1%となっている。次いで、「基本的に出勤がよい(27.4%)」、「出勤中心で、定期的にテレワークがよい(出勤が50%以上)(21.4%)」となっている。

また、「基本的に出勤がよい」と「テレワーク中心で、時々出勤がよい(テレワークが50%以上)」を合わせた『テレワーク意向』と、「出勤中心で、定期的にテレワークがよい(出勤が50%以上)」と「基本的に出勤がよい」を合わせた『出勤意向』を比較すると、『テレワーク意向』が49.3%、『出勤意向』が48.8%となり、概ね半分ずつとなっている。

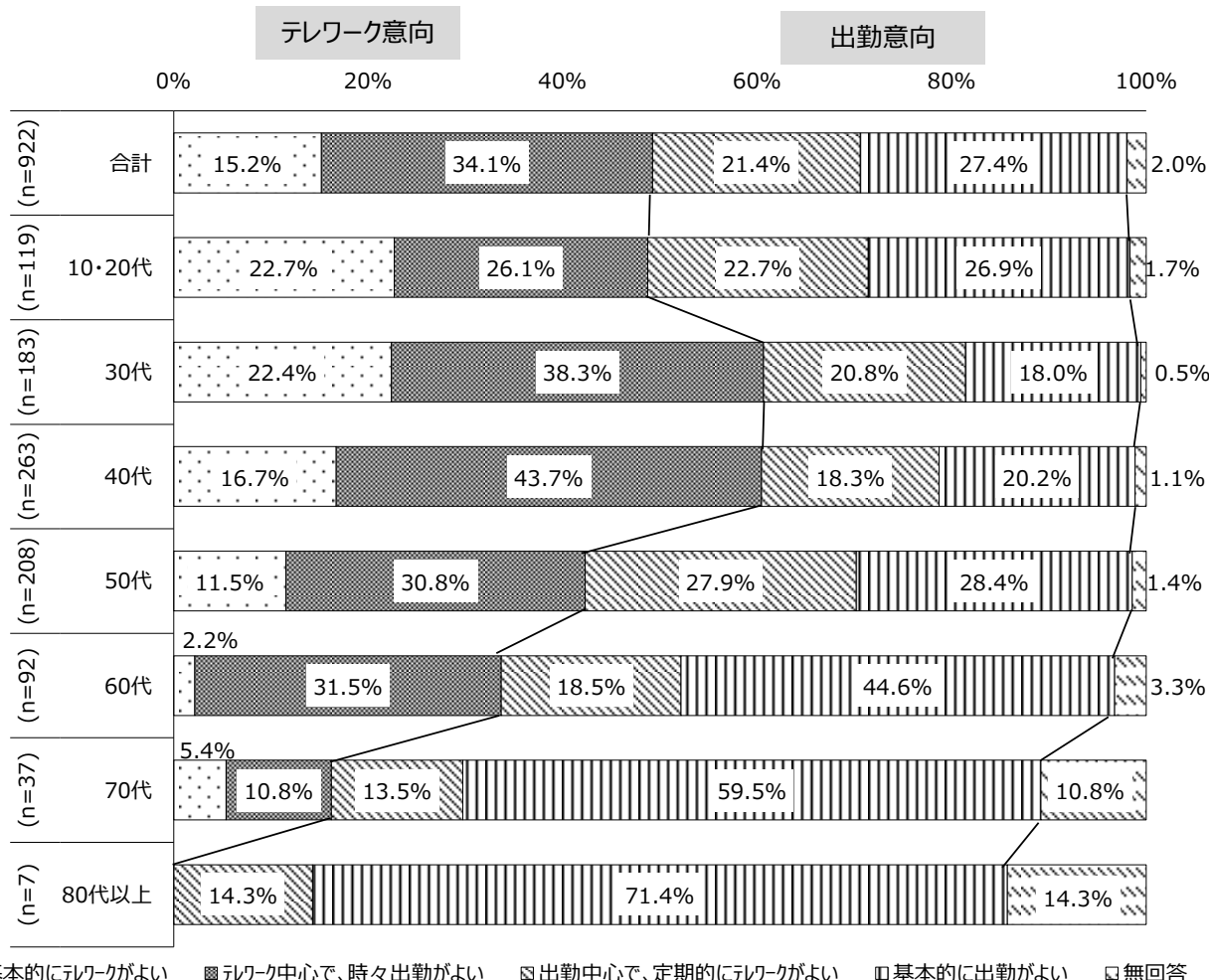
図表 59 テレワーク意向



2)テレワーク意向（年齢別）

30～40代で「基本的にテレワークがよい」と「テレワーク中心で、時々出勤がよい」を合わせた『テレワーク意向』の割合が高くなっている。『テレワーク意向』の割合は、30～40代以降、年代が上がるにつれ低くなる。

図表 60 テレワーク意向（年齢別）



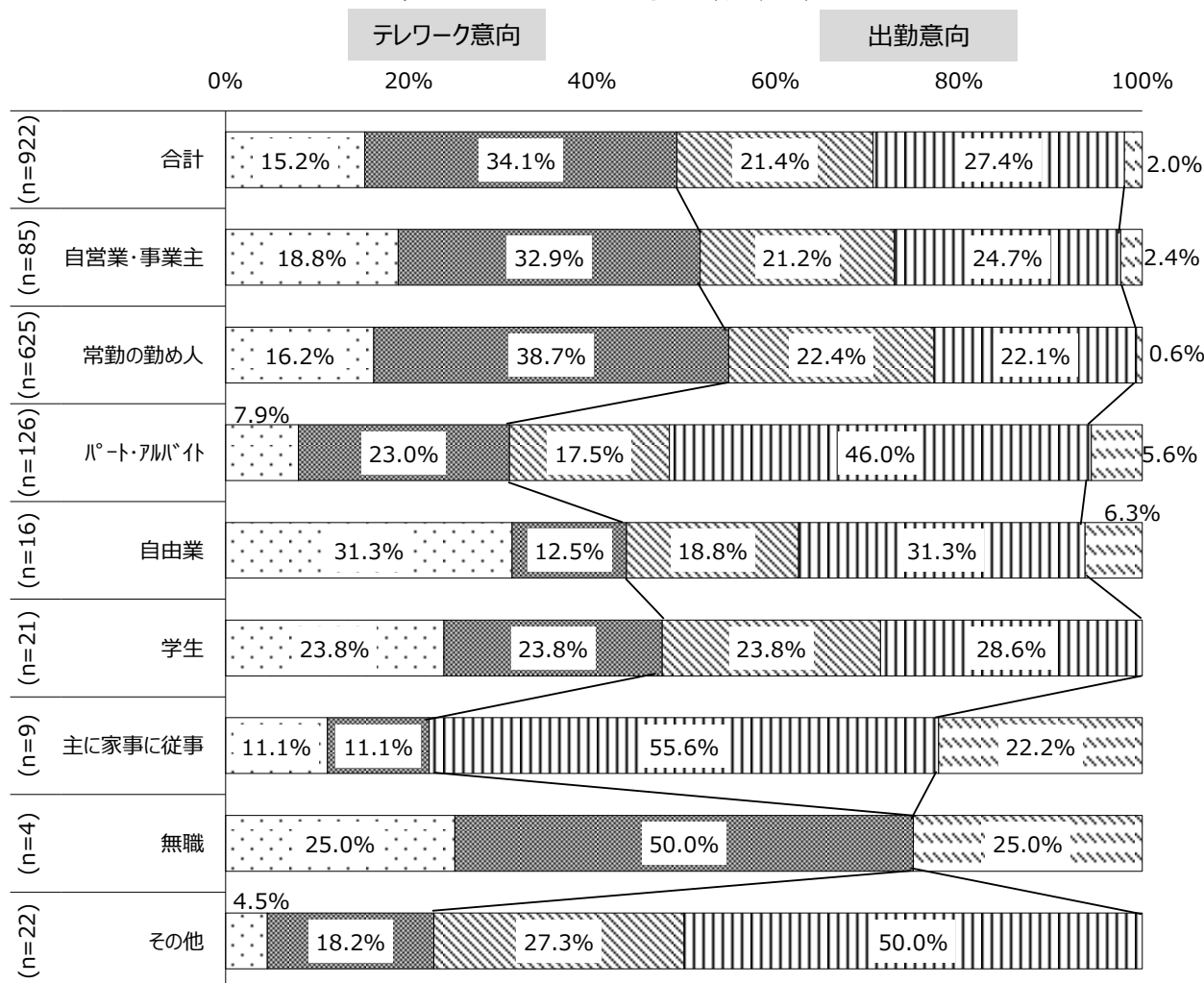
		基本的なテレワークがよい	テレワーク中心で、時々出勤がよい	出勤中心で、定期的にテレワークがよい	基本的に出勤がよい	無回答
(n=922)	合計	15.2%	34.1%	21.4%	27.4%	2.0%
(n=119)	10・20代	22.7%	26.1%	22.7%	26.9%	1.7%
(n=183)	30代	22.4%	38.3%	20.8%	18.0%	0.5%
(n=263)	40代	16.7%	43.7%	18.3%	20.2%	1.1%
(n=208)	50代	11.5%	30.8%	27.9%	28.4%	1.4%
(n=92)	60代	2.2%	31.5%	18.5%	44.6%	3.3%
(n=37)	70代	5.4%	10.8%	13.5%	59.5%	10.8%
(n=7)	80代以上	0.0%	0.0%	14.3%	71.4%	14.3%

3)テレワーク意向（職業別）

「自営業・事業主」や「常勤の勤め人」で、「基本的にテレワークがよい」と「テレワーク中心で、時々出勤がよい」を合わせた『テレワーク意向』の割合がやや高くなっている。

一方、「パート・アルバイト」では、「出勤中心で、定期的にテレワークがよい（出勤が50%以上）」と「基本的に出勤がよい」を合わせた『出勤意向』の割合が高くなっている。

図表 61 テレワーク意向（職業別）



□基本的にテレワークがよい ■テレワーク中心で、時々出勤がよい ▨出勤中心で、定期的にテレワークがよい ▩基本的に出勤がよい □無回答

		基本的にテレワークがよい	テレワーク中心で、時々出勤がよい	出勤中心で、定期的にテレワークがよい	基本的に出勤がよい	無回答
(n=922)	合計	15.2%	34.1%	21.4%	27.4%	2.0%
(n=85)	自営業・事業主	18.8%	32.9%	21.2%	24.7%	2.4%
(n=625)	常勤の勤め人	16.2%	38.7%	22.4%	22.1%	0.6%
(n=126)	パート・アルバイト	7.9%	23.0%	17.5%	46.0%	5.6%
(n=16)	自由業	31.3%	12.5%	18.8%	31.3%	6.3%
(n=21)	学生	23.8%	23.8%	23.8%	28.6%	0.0%
(n=9)	主に家事に従事	11.1%	11.1%	0.0%	55.6%	22.2%
(n=4)	無職	25.0%	50.0%	0.0%	0.0%	25.0%
(n=22)	その他	4.5%	18.2%	27.3%	50.0%	0.0%

(4) 防災

- 災害への備えとして「飲料水や非常食を常備している」という人が70.2%に上った。また、10～30代の『若年層』では、多くの選択肢で回答割合が低くなっている。
- 区内の防災訓練へ参加したことがない人の割合は88.4%と多数を占めた。また、区民が災害情報等を収集する手段としては、「テレビ(67.3%)」の割合が最も高いが、10～40代では区以外のホームページやSNSなどが4割強を占めている。

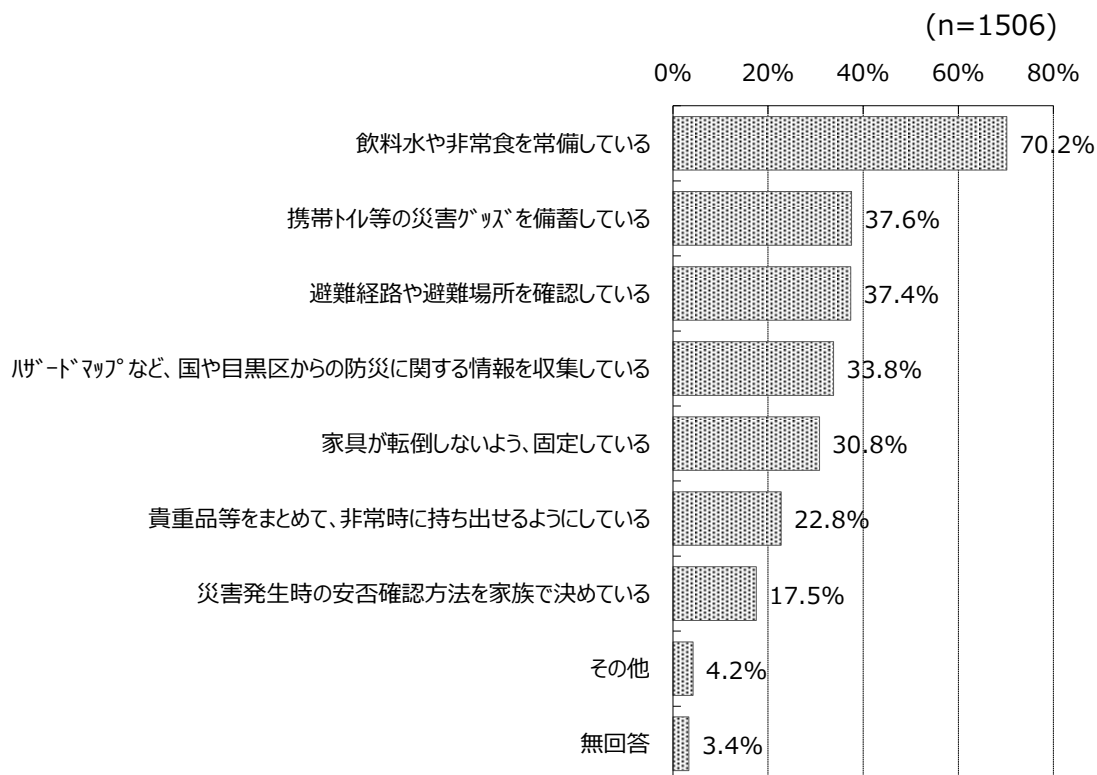
①家庭における災害への備え

問7 あなたは、災害への備えとして、ご家庭でどのようなことを行っていますか。
(あてはまるものすべてに○)

1) 全体

災害への備えとして家庭で行っていることを尋ねたところ、「飲料水や非常食を常備している」の割合が最も高く70.2%となっている。次いで、「携帯トイレ等の災害グッズを備蓄している(37.6%)」、「避難経路や避難場所を確認している(37.4%)」となっている。

図表 62 家庭における災害への備え



注釈) 単純集計のグラフのみ、回答割合の高かった選択肢順に並び替えている。

2) 年齢別

60代では、「携帯トイレ等の災害グッズを備蓄している」や「国や目黒区からの防災に関する情報を収集している」の割合が他の年代と比較して高く、50代では、「避難経路や避難場所を確認している」の割合が他の年代と比較して高い。

10・20代では、多くの選択肢で回答割合が低くなっている。

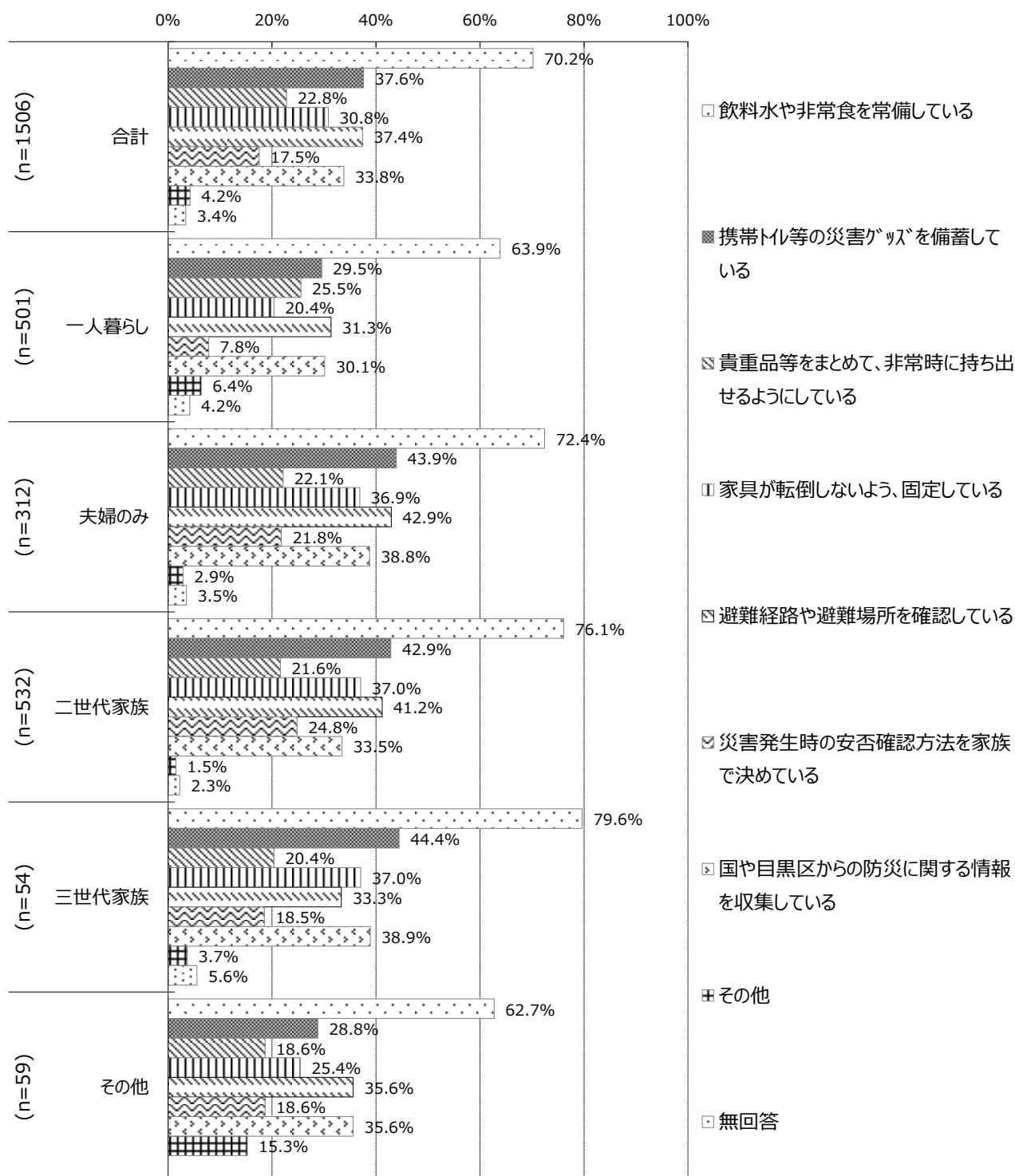
図表 63 家庭における災害への備え（年齢別）

		飲料水や非常食を常備している	携帯トイレ等の災害グッズを備蓄している	貴重品等をまとめて、非常時に持ち出せるようにしている	家具が転倒しないよう、固定している	避難経路や避難場所を確認している	災害発生時の安否確認方法を家族で決めている	国や目黒区からの防災に関する情報を収集している	その他	無回答
(n=1506)	合計	70.2%	37.6%	22.8%	30.8%	37.4%	17.5%	33.8%	4.2%	3.4%
(n=151)	10・20代	58.3%	23.8%	23.2%	20.5%	22.5%	12.6%	17.2%	6.6%	5.3%
(n=220)	30代	61.4%	32.7%	17.3%	19.1%	37.3%	15.0%	30.5%	1.8%	3.6%
(n=307)	40代	75.6%	42.3%	19.5%	27.4%	38.8%	21.2%	36.8%	3.3%	2.9%
(n=277)	50代	76.9%	41.9%	21.3%	32.1%	43.3%	22.7%	36.5%	4.7%	2.2%
(n=184)	60代	69.6%	44.6%	25.0%	41.8%	40.2%	21.7%	44.0%	3.8%	2.7%
(n=197)	70代	73.1%	37.1%	24.9%	32.5%	40.1%	11.2%	31.5%	6.1%	3.6%
(n=128)	80代以上	75.0%	35.9%	38.3%	49.2%	33.6%	14.1%	33.6%	3.9%	3.1%

3) 世帯構成別

「三世代家族（親と子どもと孫）」で「飲料水や非常食を常備している」の割合がやや高くなっている。

図表 64 家庭における災害への備え（世帯構成別）



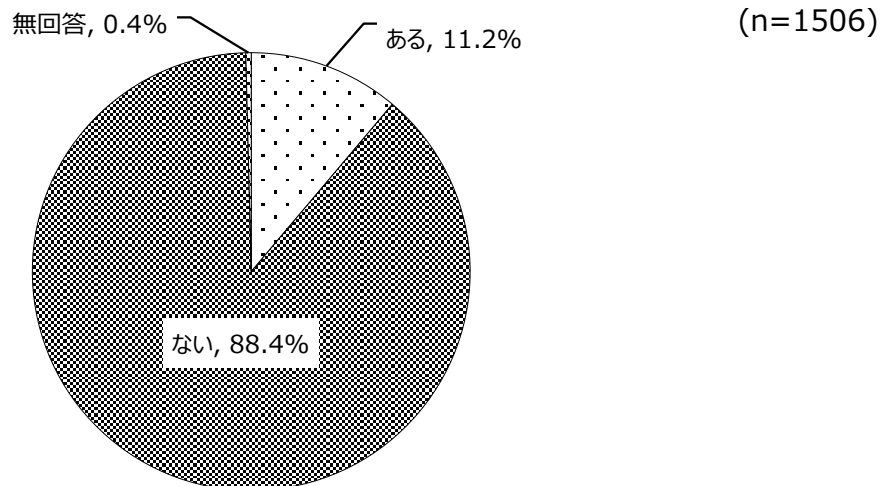
②防災訓練への参加経験の有無

問8 区内で実施されている防災訓練に参加したことがありますか。
(あてはまるもの1つに○)

1)全体

区内の防災訓練への参加経験を尋ねたところ、「ない」の割合が88.4%、「ある」の割合が11.2%で、およそ10人に1人が参加したことがあると回答している。

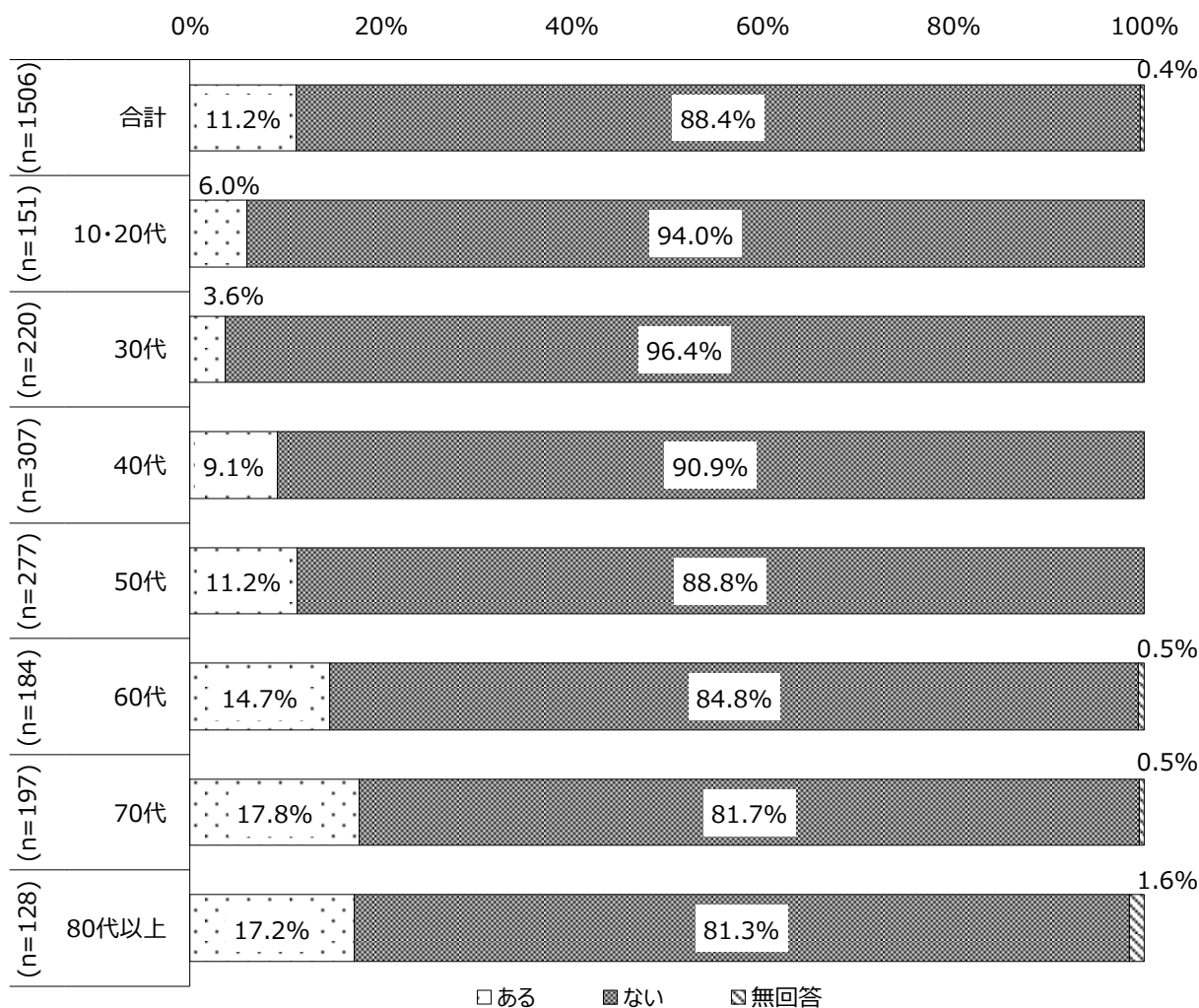
図表 65 防災訓練への参加経験



2) 年齢別

おおむね年齢が高くなるほど「ある」の割合が高くなる傾向がある。

図表 66 防災訓練への参加経験（年齢別）

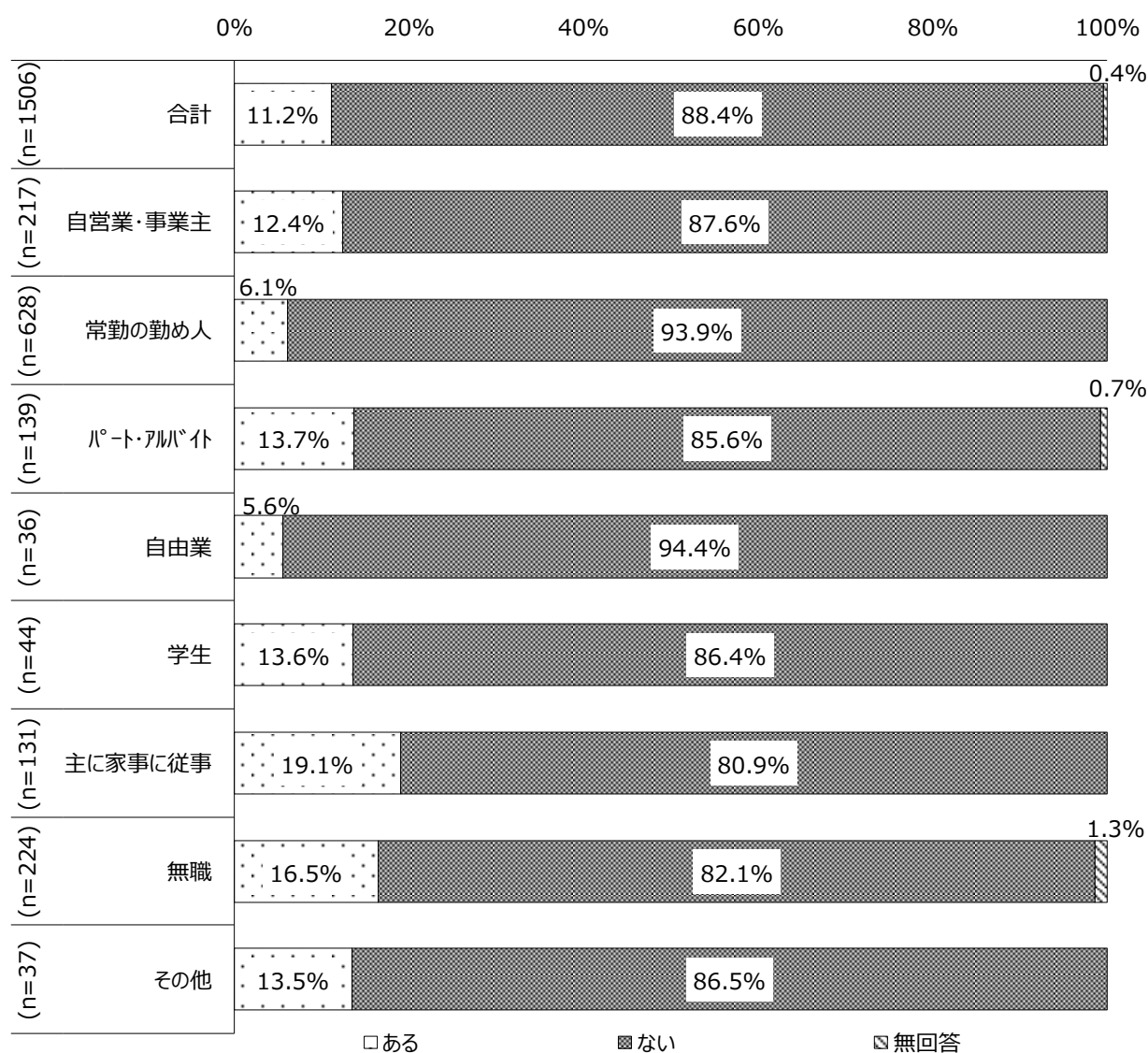


		ある	ない	無回答
(n=1506)	合計	11.2%	88.4%	0.4%
(n=151)	10・20代	6.0%	94.0%	0.0%
(n=220)	30代	3.6%	96.4%	0.0%
(n=307)	40代	9.1%	90.9%	0.0%
(n=277)	50代	11.2%	88.8%	0.0%
(n=184)	60代	14.7%	84.8%	0.5%
(n=197)	70代	17.8%	81.7%	0.5%
(n=128)	80代以上	17.2%	81.3%	1.6%

3) 職業別

「ある」の割合は「主に家事に従事」でやや高く、「自由業」、「常勤の勤め人」で低くなっている。

図表 67 防災訓練への参加経験（職業別）

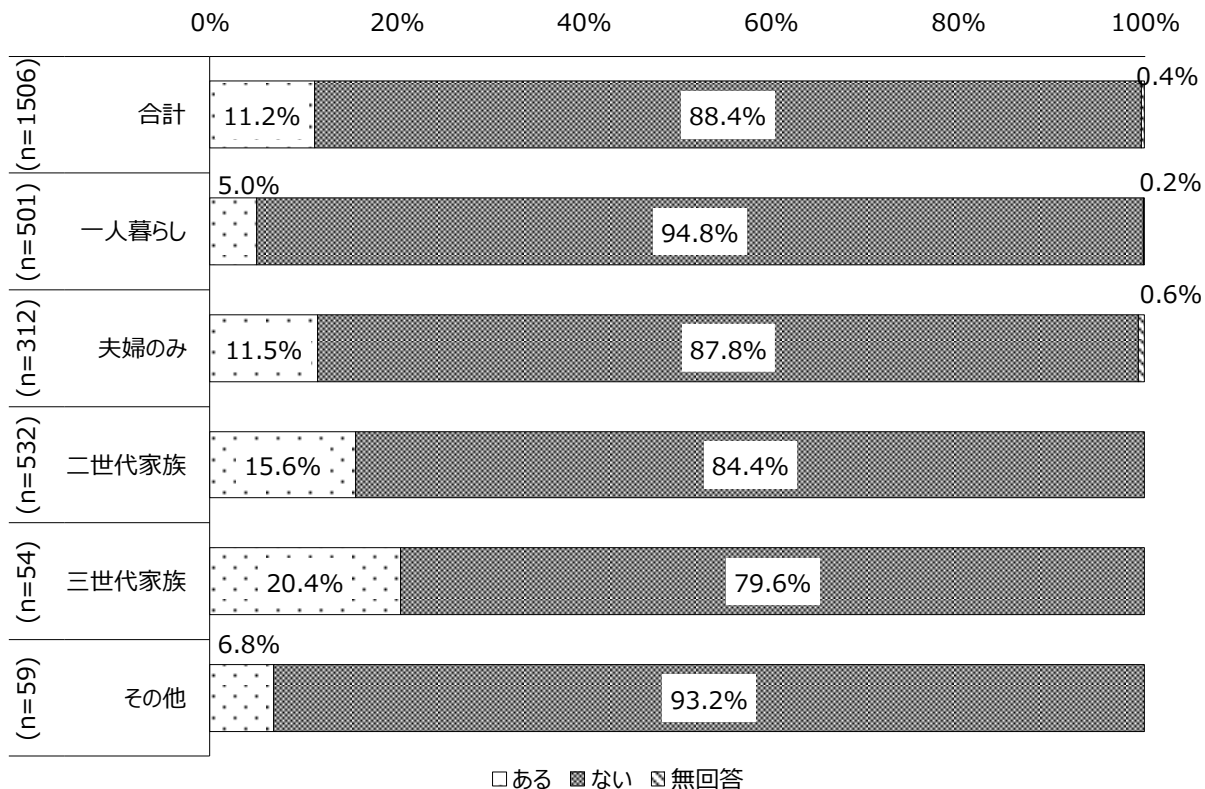


		ある	ない	無回答
(n=1506)	合計	11.2%	88.4%	0.4%
(n=217)	自営業・事業主	12.4%	87.6%	0.0%
(n=628)	常勤の勤め人	6.1%	93.9%	0.0%
(n=139)	パート・アルバイト	13.7%	85.6%	0.7%
(n=36)	自由業	5.6%	94.4%	0.0%
(n=44)	学生	13.6%	86.4%	0.0%
(n=131)	主に家事に従事	19.1%	80.9%	0.0%
(n=224)	無職	16.5%	82.1%	1.3%
(n=37)	その他	13.5%	86.5%	0.0%

4) 世帯構成別

多世代の世帯ほど、「ある」の割合が高くなっている。

図表 68 防災訓練への参加経験（世帯構成別）

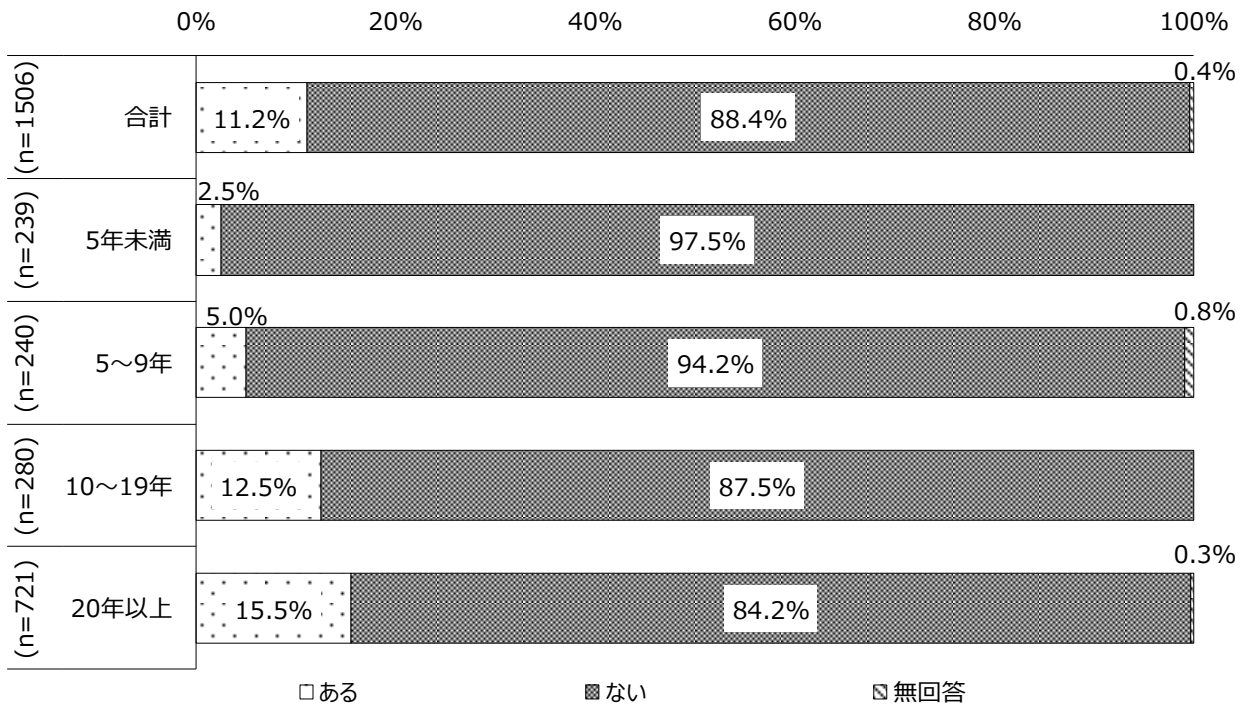


		ある	ない	無回答
(n=1506)	合計	11.2%	88.4%	0.4%
(n=501)	一人暮らし	5.0%	94.8%	0.2%
(n=312)	夫婦のみ	11.5%	87.8%	0.6%
(n=532)	二世世代家族	15.6%	84.4%	0.0%
(n=54)	三世世代家族	20.4%	79.6%	0.0%
(n=59)	その他	6.8%	93.2%	0.0%

5) 居住年数別

居住年数が長くなるほど、「ある」の割合が高くなっている。

図表 69 防災訓練への参加経験（居住年数別）



		ある	ない	無回答
(n=1506)	合計	11.2%	88.4%	0.4%
(n=239)	5年未満	2.5%	97.5%	0.0%
(n=240)	5～9年	5.0%	94.2%	0.8%
(n=280)	10～19年	12.5%	87.5%	0.0%
(n=721)	20年以上	15.5%	84.2%	0.3%

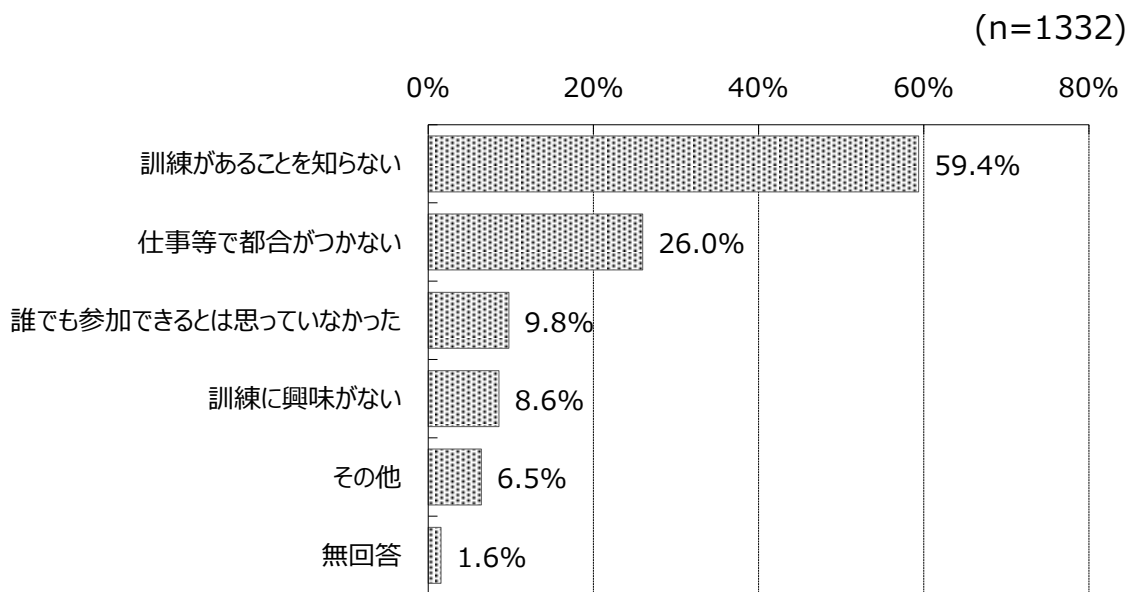
③防災訓練に参加しない理由

問 8 - 1 防災訓練に参加していない理由は何ですか。(あてはまるもの1つに○)

1) 全体

区内の防災訓練に参加経験が「ない」と回答した人にその理由を尋ねたところ、「訓練があることを知らない」の割合が最も高く 59.4%となっている。次いで、「仕事等で都合がつかない (26.0%)」、「誰でも参加できるとは思っていなかった (9.8%)」となっている。

図表 70 防災訓練に参加しない理由



2)性年齢別

30代男性や10～30代女性では、「訓練があることを知らない」の割合が他の性年齢と比較して高くなっている。また、40～50代男性では、「仕事等で都合がつかない」の割合が他の性年齢と比較して高くなっている。

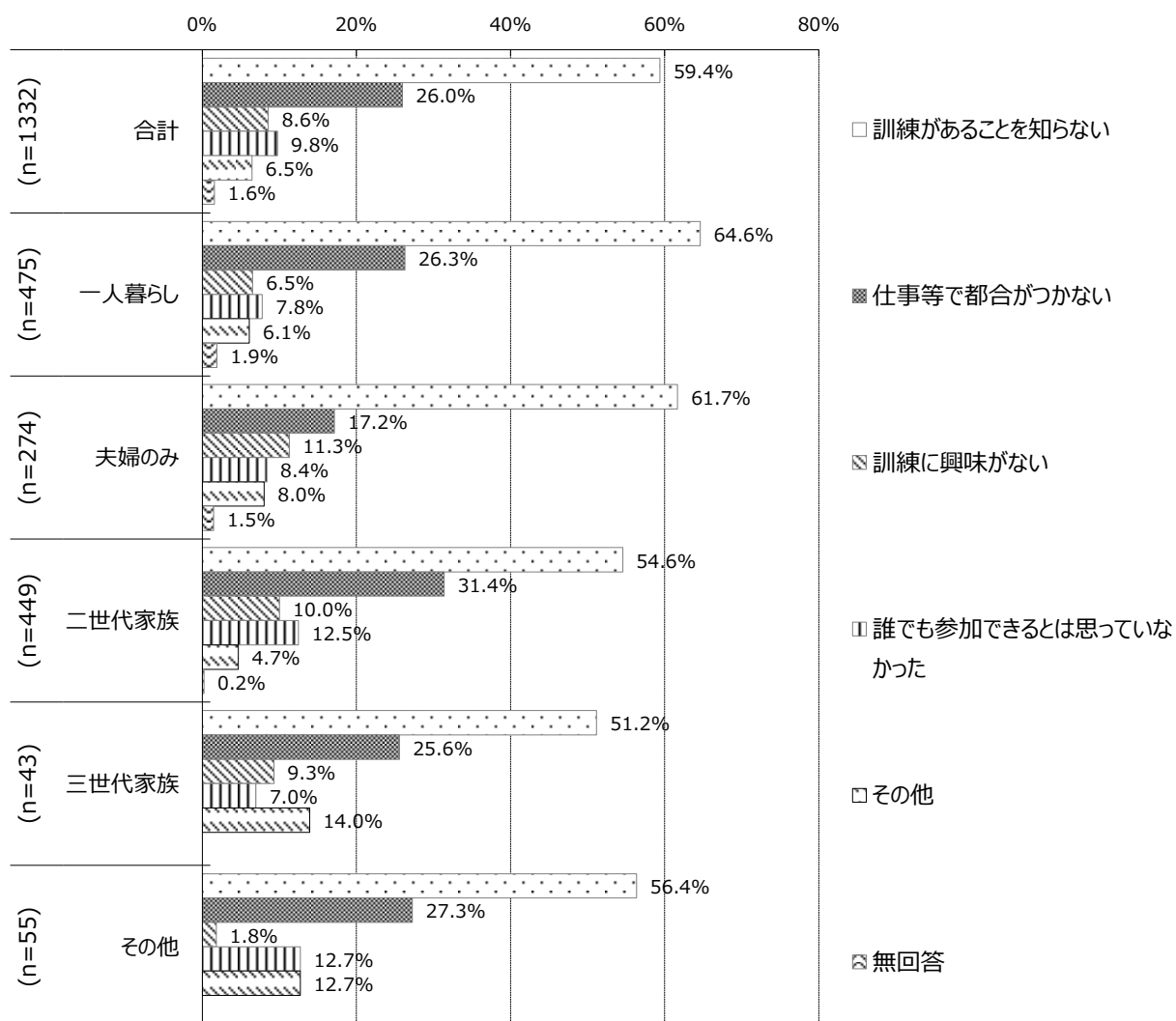
図表 71 防災訓練に参加しない理由（性年齢別）

		訓練があることを知らない	仕事等で都合がつかない	訓練に興味がない	誰でも参加できるとは思っていなかった	その他	無回答
(n=1332)	合計	59.4%	26.0%	8.6%	9.8%	6.5%	1.6%
(n=526)	男性計	58.9%	30.6%	10.1%	8.7%	4.0%	0.8%
(n=55)	10・20代男性	61.8%	30.9%	18.2%	9.1%	1.8%	0.0%
(n=87)	30代男性	72.4%	25.3%	9.2%	6.9%	1.1%	0.0%
(n=113)	40代男性	64.6%	38.9%	7.1%	6.2%	0.0%	0.0%
(n=100)	50代男性	53.0%	40.0%	11.0%	9.0%	3.0%	0.0%
(n=67)	60代男性	52.2%	34.3%	9.0%	10.4%	1.5%	0.0%
(n=70)	70代男性	50.0%	17.1%	11.4%	14.3%	8.6%	2.9%
(n=34)	80代以上男性	50.0%	8.8%	5.9%	5.9%	26.5%	5.9%
(n=774)	女性計	60.1%	23.3%	7.6%	10.5%	8.3%	1.3%
(n=87)	10・20代女性	78.2%	20.7%	11.5%	6.9%	1.1%	1.1%
(n=125)	30代女性	84.0%	16.0%	3.2%	6.4%	1.6%	0.0%
(n=166)	40代女性	67.5%	26.5%	8.4%	10.8%	1.8%	0.0%
(n=146)	50代女性	60.3%	32.9%	4.1%	13.7%	4.1%	0.7%
(n=89)	60代女性	39.3%	32.6%	12.4%	10.1%	10.1%	1.1%
(n=91)	70代女性	33.0%	19.8%	12.1%	15.4%	16.5%	4.4%
(n=70)	80代以上女性	38.6%	4.3%	4.3%	8.6%	40.0%	4.3%

3) 世帯構成別

どの世帯構成でも「訓練があることを知らない」の割合が一番高い。また、「二世世代家族（親と子ども）」で「仕事等で都合がつかない」の割合がやや高くなっている。

図表 72 防災訓練に参加しない理由（世帯構成別）



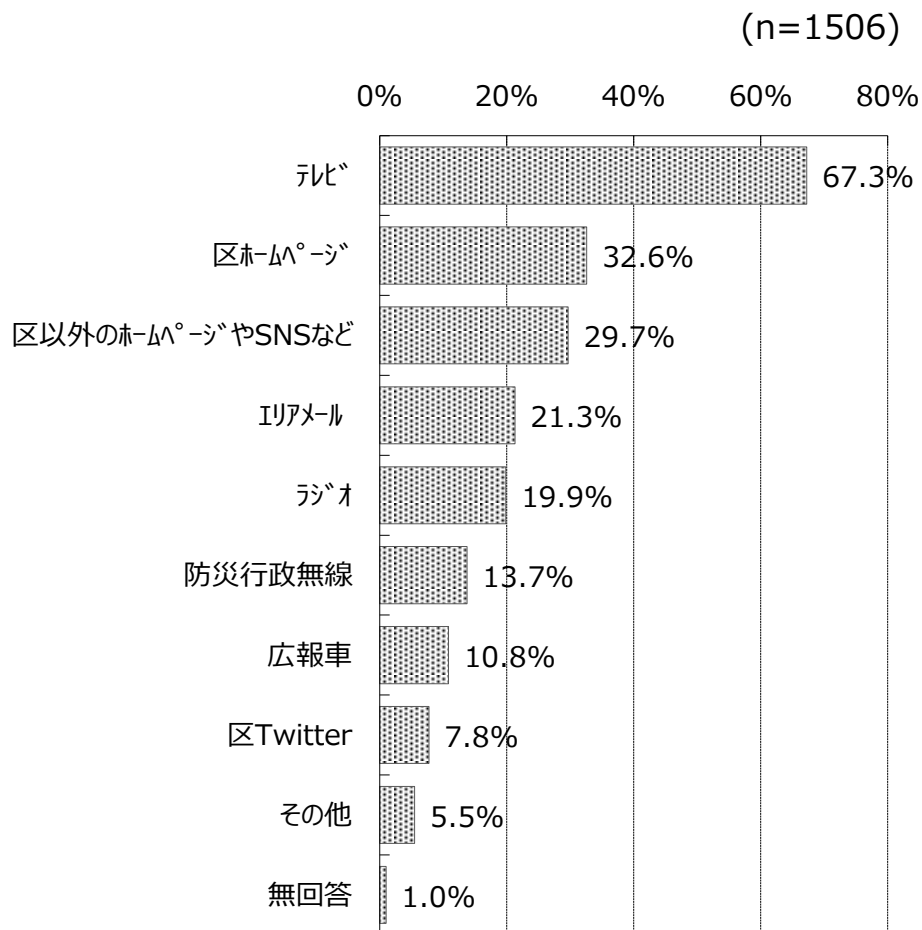
④災害情報収集の手段

問9 あなたが災害情報を収集する手段は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1) 全体

災害情報を収集する手段を尋ねたところ、「テレビ」の割合が最も高く67.3%となっている。次いで、「区ホームページ(32.6%)」、「区以外のホームページやSNSなど(29.7%)」となっている。

図表 73 災害情報収集手段



注釈) 単純集計のグラフのみ、回答割合の高かった選択肢順に並び替えている。

2) 年齢別

10～40代では、「区以外のホームページやSNSなど」の割合が他の年代と比較して高い。また、50代で「区ホームページ」の割合が、60代で「テレビ」の割合が、他の年代と比較して高くなっている。

図表 74 災害情報収集手段（年齢別）

		区ホームページ	区Twitter	防災行政無線	広報車	エリアメール
(n=1506)	合計	32.6%	7.8%	13.7%	10.8%	21.3%
(n=151)	10・20代	24.5%	15.9%	6.6%	3.3%	17.9%
(n=220)	30代	35.5%	11.8%	10.9%	2.3%	21.8%
(n=307)	40代	37.5%	12.4%	12.1%	4.6%	27.4%
(n=277)	50代	43.0%	6.9%	17.0%	8.3%	27.8%
(n=184)	60代	32.1%	3.3%	15.2%	13.0%	26.1%
(n=197)	70代	24.9%	1.5%	20.3%	23.4%	14.7%
(n=128)	80代以上	21.1%	0.0%	14.1%	32.8%	3.9%

		テレビ	ラジオ	区以外のホームページやSNSなど	その他	無回答
(n=1506)	合計	67.3%	19.9%	29.7%	5.5%	1.0%
(n=151)	10・20代	58.3%	6.6%	44.4%	3.3%	0.7%
(n=220)	30代	60.9%	14.1%	43.2%	6.4%	0.9%
(n=307)	40代	62.9%	19.2%	41.4%	4.6%	0.0%
(n=277)	50代	65.7%	18.8%	35.4%	5.4%	0.7%
(n=184)	60代	81.0%	22.8%	21.7%	5.4%	0.0%
(n=197)	70代	74.1%	27.9%	7.1%	6.1%	2.0%
(n=128)	80代以上	74.2%	31.3%	1.6%	7.0%	2.3%